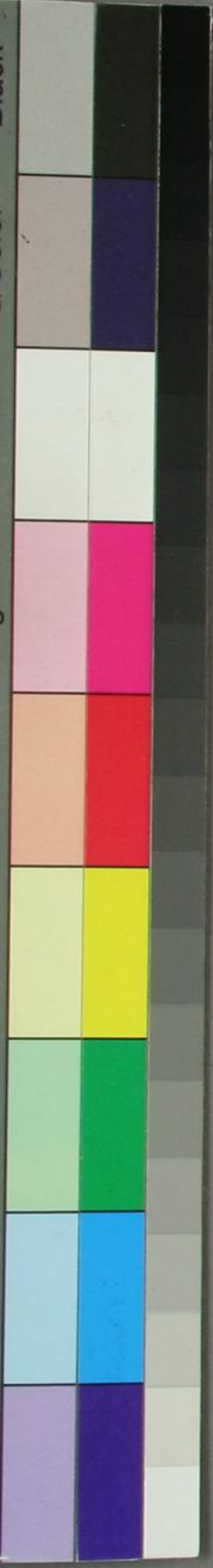


當世改算記

利息制  
 年月制 年賦割 同累年  
 平算之法 異乘同除之法 同  
 雜題 差分 盈肉 平坪  
 位坪

味嚼  
 綿絹水綿  
 材木運賃  
 代  
 煙草紙  
 辛藥糖  
 百九水油  
 九位

22  
 2103



2103

菊池錦衣先生閱  
金子昌良先生編

# 當世改算記

學而堂藏梓

當世改算記序

金三十一日寄  
依原忠記

夫九宮一算之術。及其窮原也。通乎微  
妙。遠乎無方。無大不綜。無幽不顯也。是  
以至計。飛蝗射隱伏。無不中效矣。實  
百世之下。莫之可易。嗚呼。算之用。大矣  
矣。余自少。嗜算。晝夜不解。致  
研窮者。有年。於茲矣。雖未能得計  
飛蝗射隱伏之妙。然及於辨九宮曉  
量數。則思過於半矣。頃日。書肆。向堂

當世改算記

序

未竟余所著。當世改算記。請梓而公之。  
 世余固辭曰。此書既成。隨滯者。實不遠。若  
 割剝氏也。書肆不聽。遂携而去。抑今  
 世所擇行算學之書。雖其數許多。以訓  
 蒙導童之類。非辨微妙。曉精義之  
 書。是以學志。或有嚙。以淺陋志。以此書之  
 出。不能免其嚙矣。若夫秘密口訣之要。余  
 別有所考也。有志之士。試就而學之可也。

丁未秋

菊池長良



當世改算記



仙臺 菊池宇太之丞長良閱  
 江都 金子左右平昌良編

○ 大數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
○ 小數	十	百	千	萬	億	兆	京	垓	秭	穰
分	釐	毫	絲	忽	微	纖	沙	塵	渺	漠

當世改算記

忽 微 鐵 沙 塵 埃 澗 漠

○ 度

丈 尺 寸 分 釐  
尺を以て丈以上  
十寸を  
寸を  
十分を  
十分釐を以て  
後倣之

釐 毫 絲 忽 端 匹  
釐を以て毫以上  
十寸を  
寸を  
十分を  
十分釐を以て  
後倣之

○ 量

石 斗 升 合 撮 撮 粟  
斗を以て石以上  
十升を  
升を  
十合を  
十勺を以て  
後倣之

○ 衡

貫 兩 斤 鈞  
百文目を以て貫  
以上大數を用  
百を以て  
十文目を  
十を以て  
四分兩  
鐵 鈔  
一文目を以て以下  
小數を用

兩 斤 鈞  
四文目三分 或四文目 或四文目四分  
或五文目 小判ハ一枚を兩とす  
百六十文目 或百文目 或百八十文目 或二百文目 或二百三十文目  
或二百五十文目 或二百十文目 或三百文目

兩 斤 鈞  
百六十文目 或百文目 或百八十文目 或二百文目 或二百三十文目  
或二百五十文目 或二百十文目 或三百文目

兩 斤 鈞  
百六十文目 或百文目 或百八十文目 或二百文目 或二百三十文目  
或二百五十文目 或二百十文目 或三百文目

步 間 里 段 町  
方六尺を以て  
長六尺五寸 或六尺を以て  
長六十間  
長三六町或五十町或六十町を以て  
以上大數を用

○ 諸物輕重數  
各一寸四方之重を記す

金 銀 鍍 銅 鉛 青石  
百七十文目 百四十文目 六十文目 七十五文目 九十五文目 二十六文目

金 銀 鍍 銅 鉛 青石  
百七十文目 百四十文目 六十文目 七十五文目 九十五文目 二十六文目

金 銀 鍍 銅 鉛 青石  
百七十文目 百四十文目 六十文目 七十五文目 九十五文目 二十六文目

金 銀 鍍 銅 鉛 青石  
百七十文目 百四十文目 六十文目 七十五文目 九十五文目 二十六文目

金 銀 鍍 銅 鉛 青石  
百七十文目 百四十文目 六十文目 七十五文目 九十五文目 二十六文目

金 銀 鍍 銅 鉛 青石  
百七十文目 百四十文目 六十文目 七十五文目 九十五文目 二十六文目

金 銀 鍍 銅 鉛 青石  
百七十文目 百四十文目 六十文目 七十五文目 九十五文目 二十六文目

金 銀 鍍 銅 鉛 青石  
百七十文目 百四十文目 六十文目 七十五文目 九十五文目 二十六文目

金 銀 鍍 銅 鉛 青石  
百七十文目 百四十文目 六十文目 七十五文目 九十五文目 二十六文目

金 銀 鍍 銅 鉛 青石  
百七十文目 百四十文目 六十文目 七十五文目 九十五文目 二十六文目

金 銀 鍍 銅 鉛 青石  
百七十文目 百四十文目 六十文目 七十五文目 九十五文目 二十六文目

金 銀 鍍 銅 鉛 青石  
百七十文目 百四十文目 六十文目 七十五文目 九十五文目 二十六文目

金 銀 鍍 銅 鉛 青石  
百七十文目 百四十文目 六十文目 七十五文目 九十五文目 二十六文目

金 銀 鍍 銅 鉛 青石  
百七十文目 百四十文目 六十文目 七十五文目 九十五文目 二十六文目

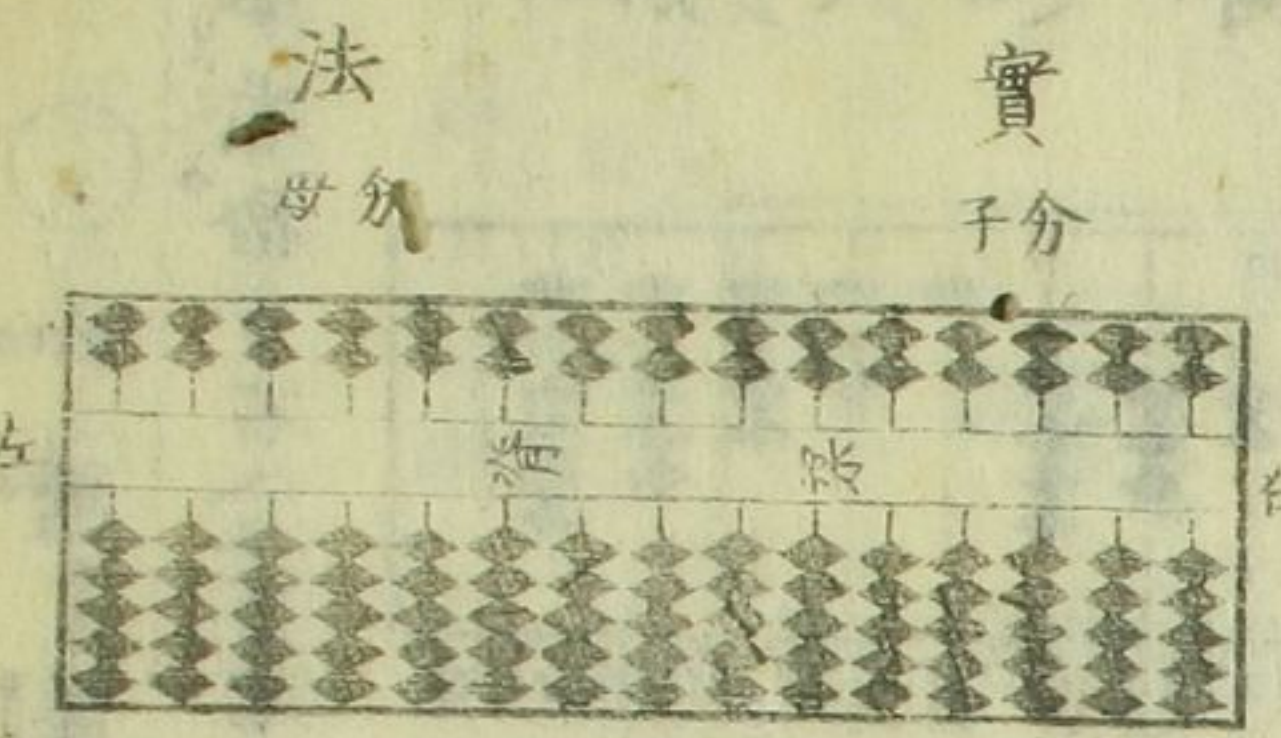
九歸法

六六三十六	六七四十二	六八四十八	六九五十四	七七四十九
七八五十六	七九六十三	八八六十四	八九七十二	九九八十一
一進一十	二進二十	三進三十	四進四十	五進五十
六進六十	七進七十	八進八十	九進九十	二一添作五
二進一十	四進二十	六進三十	八進四十	三一三十一
三二六十二	三進一十	六進二十	九進三十	四一二十二
四二添作五	四三七十二	四進一十	八進二十	五一加一
五二加二	五三加三	五四加四	五進一十	六一下加四
六二三十二	六三添作五	六四六十四	六五八十二	六六進一十
七一下加三	七二下加六	七三四十二	七四五十五	七五七十一
七六八十四	七進一十	八一下加二	八二下加四	八三下加六
八四添作五	八五六十二	八六七十四	八七八十六	八進一十
九一下加一	九二下加二	九三下加三	九四下加四	九五下加五
九六下加六	九七下加七	九八下加八	九進一十	

撞除法

- 見一無頭作九一 歸一倍一 見二無頭作九二 歸一倍二 見三無頭作九三 歸一倍三
- 見四無頭作九四 歸一倍四 見五無頭作九五 歸一倍五 見六無頭作九六 歸一倍六
- 見七無頭作九七 歸一倍七 見八無頭作九八 歸一倍八 見九無頭作九九 歸一倍九

算顆盤之圖



算法統宗の盤中の横梁を脊と名く以て上下の隔と  
 と算法新書に見へり左を數の首位と右を  
 數の尾位と以法俗目ハ乘除とを左へおき實ハ乘除  
 へき數より右へおき下顆ハ上一顆ハ五あり下五顆聚  
 と此ハ是を去て上一顆ヲ換へ上ハ二顆聚と此を去  
 去く一位進ぐ下の一顆を置くとす布算の  
 法加減乗除の部は詳なり

○加増し添ふをいふ

今米拾万石二万石と三十石と四百石と五拾石と六石と七斗と八升と九合を加へ何程と問

加の入の之の圖

右	合	升	斗	石	十	万	十	百	千	十	百	十	万	十	百	千	十	百
①	九合	八升	七斗	六石	五拾	四万	三万	二万	一萬	九千	八千	七千	六千	五千	四千	三千	二千	一千
左	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲

答拾二万三千四百五拾六石七斗八升九合  
 術拾万石の(一)の折下を二置是二万石  
 加ると(二)の折下を二置又二万石  
 加ると(三)の折下を二置又二万石  
 加ると(四)の折下を二置又二万石  
 加ると(五)の折下を二置又二万石  
 加ると(六)の折下を二置又二万石  
 加ると(七)の折下を二置又二万石  
 加ると(八)の折下を二置又二万石  
 加ると(九)の折下を二置又二万石  
 加ると(十)の折下を二置又二万石  
 加ると(十一)の折下を二置又二万石  
 加ると(十二)の折下を二置又二万石  
 加ると(十三)の折下を二置又二万石  
 加ると(十四)の折下を二置又二万石  
 加ると(十五)の折下を二置又二万石  
 加ると(十六)の折下を二置又二万石  
 加ると(十七)の折下を二置又二万石  
 加ると(十八)の折下を二置又二万石  
 加ると(十九)の折下を二置又二万石  
 加ると(二十)の折下を二置又二万石

加ると(一)の折上を二置又七斗  
 加ると(二)の折上を二置又七斗  
 加ると(三)の折上を二置又七斗  
 加ると(四)の折上を二置又七斗  
 加ると(五)の折上を二置又七斗  
 加ると(六)の折上を二置又七斗  
 加ると(七)の折上を二置又七斗  
 加ると(八)の折上を二置又七斗  
 加ると(九)の折上を二置又七斗  
 加ると(十)の折上を二置又七斗  
 加ると(十一)の折上を二置又七斗  
 加ると(十二)の折上を二置又七斗  
 加ると(十三)の折上を二置又七斗  
 加ると(十四)の折上を二置又七斗  
 加ると(十五)の折上を二置又七斗  
 加ると(十六)の折上を二置又七斗  
 加ると(十七)の折上を二置又七斗  
 加ると(十八)の折上を二置又七斗  
 加ると(十九)の折上を二置又七斗  
 加ると(二十)の折上を二置又七斗

○減多き内少きを去るをいふ

今米百万石の内八拾七万六千五百四拾三石三斗一升一合引残何程と問

減の去の之の圖

合	升	斗	石	十	万	十	百	千	十	百	十	万	十	百	千	十	百
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱

答拾二万三千四百六拾六石七斗八升九合  
 術百万石の内八拾七万六千五百四拾三石三斗一升一合引残何程と問  
 (一)の折下を二置又二万石  
 (二)の折下を二置又二万石  
 (三)の折下を二置又二万石  
 (四)の折下を二置又二万石  
 (五)の折下を二置又二万石  
 (六)の折下を二置又二万石  
 (七)の折下を二置又二万石  
 (八)の折下を二置又二万石  
 (九)の折下を二置又二万石  
 (十)の折下を二置又二万石  
 (十一)の折下を二置又二万石  
 (十二)の折下を二置又二万石  
 (十三)の折下を二置又二万石  
 (十四)の折下を二置又二万石  
 (十五)の折下を二置又二万石  
 (十六)の折下を二置又二万石  
 (十七)の折下を二置又二万石  
 (十八)の折下を二置又二万石  
 (十九)の折下を二置又二万石  
 (二十)の折下を二置又二万石

術曰百万石の内八拾七万六千五百四拾三石三斗一升一合引残何程と問  
 (一)の折下を二置又二万石  
 (二)の折下を二置又二万石  
 (三)の折下を二置又二万石  
 (四)の折下を二置又二万石  
 (五)の折下を二置又二万石  
 (六)の折下を二置又二万石  
 (七)の折下を二置又二万石  
 (八)の折下を二置又二万石  
 (九)の折下を二置又二万石  
 (十)の折下を二置又二万石  
 (十一)の折下を二置又二万石  
 (十二)の折下を二置又二万石  
 (十三)の折下を二置又二万石  
 (十四)の折下を二置又二万石  
 (十五)の折下を二置又二万石  
 (十六)の折下を二置又二万石  
 (十七)の折下を二置又二万石  
 (十八)の折下を二置又二万石  
 (十九)の折下を二置又二万石  
 (二十)の折下を二置又二万石

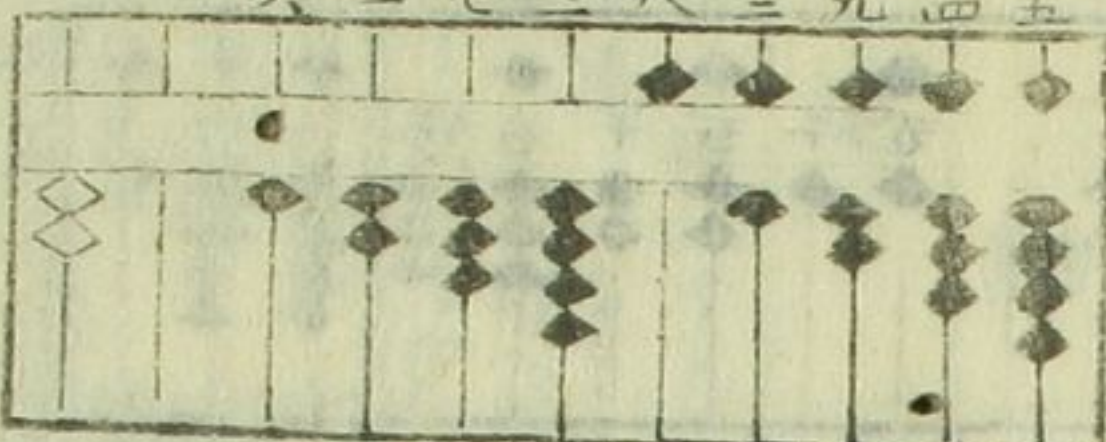
引と死引六残と引と死引七残と引と死引八残と引と死引九残と引と死引十残と引と死引十一残と引と死引十二残と引と死引十三残と引と死引十四残と引と死引十五残と引と死引十六残と引と死引十七残と引と死引十八残と引と死引十九残と引と死引二十残と引と死引二十一残と引と死引二十二残と引と死引二十三残と引と死引二十四残と引と死引二十五残と引と死引二十六残と引と死引二十七残と引と死引二十八残と引と死引二十九残と引と死引三十残と引と死引三十一残と引と死引三十二残と引と死引三十三残と引と死引三十四残と引と死引三十五残と引と死引三十六残と引と死引三十七残と引と死引三十八残と引と死引三十九残と引と死引四十残と引と死引四十一残と引と死引四十二残と引と死引四十三残と引と死引四十四残と引と死引四十五残と引と死引四十六残と引と死引四十七残と引と死引四十八残と引と死引四十九残と引と死引五十残と引と死引五十一残と引と死引五十二残と引と死引五十三残と引と死引五十四残と引と死引五十五残と引と死引五十六残と引と死引五十七残と引と死引五十八残と引と死引五十九残と引と死引六十残と引と死引六十一残と引と死引六十二残と引と死引六十三残と引と死引六十四残と引と死引六十五残と引と死引六十六残と引と死引六十七残と引と死引六十八残と引と死引六十九残と引と死引七十残と引と死引七十一残と引と死引七十二残と引と死引七十三残と引と死引七十四残と引と死引七十五残と引と死引七十六残と引と死引七十七残と引と死引七十八残と引と死引七十九残と引と死引八十残と引と死引八十一残と引と死引八十二残と引と死引八十三残と引と死引八十四残と引と死引八十五残と引と死引八十六残と引と死引八十七残と引と死引八十八残と引と死引八十九残と引と死引九十残と引と死引九十一残と引と死引九十二残と引と死引九十三残と引と死引九十四残と引と死引九十五残と引と死引九十六残と引と死引九十七残と引と死引九十八残と引と死引九十九残と引と死引百残

引と死引六残と引と死引七残と引と死引八残と引と死引九残と引と死引十残と引と死引十一残と引と死引十二残と引と死引十三残と引と死引十四残と引と死引十五残と引と死引十六残と引と死引十七残と引と死引十八残と引と死引十九残と引と死引二十残と引と死引二十一残と引と死引二十二残と引と死引二十三残と引と死引二十四残と引と死引二十五残と引と死引二十六残と引と死引二十七残と引と死引二十八残と引と死引二十九残と引と死引三十残と引と死引三十一残と引と死引三十二残と引と死引三十三残と引と死引三十四残と引と死引三十五残と引と死引三十六残と引と死引三十七残と引と死引三十八残と引と死引三十九残と引と死引四十残と引と死引四十一残と引と死引四十二残と引と死引四十三残と引と死引四十四残と引と死引四十五残と引と死引四十六残と引と死引四十七残と引と死引四十八残と引と死引四十九残と引と死引五十残と引と死引五十一残と引と死引五十二残と引と死引五十三残と引と死引五十四残と引と死引五十五残と引と死引五十六残と引と死引五十七残と引と死引五十八残と引と死引五十九残と引と死引六十残と引と死引六十一残と引と死引六十二残と引と死引六十三残と引と死引六十四残と引と死引六十五残と引と死引六十六残と引と死引六十七残と引と死引六十八残と引と死引六十九残と引と死引七十残と引と死引七十一残と引と死引七十二残と引と死引七十三残と引と死引七十四残と引と死引七十五残と引と死引七十六残と引と死引七十七残と引と死引七十八残と引と死引七十九残と引と死引八十残と引と死引八十一残と引と死引八十二残と引と死引八十三残と引と死引八十四残と引と死引八十五残と引と死引八十六残と引と死引八十七残と引と死引八十八残と引と死引八十九残と引と死引九十残と引と死引九十一残と引と死引九十二残と引と死引九十三残と引と死引九十四残と引と死引九十五残と引と死引九十六残と引と死引九十七残と引と死引九十八残と引と死引九十九残と引と死引百残

○九歸  
 歸とは法一位を以て割るを云其數一より九まで故九歸と名一歸ハ所得高  
 原數の如し仍法を立以餘一より九まで八歸を倍は八算といふ  
 今米拾二万三千四百五拾六石七斗八升九合と云ふ割何程と問

二	一	二	二
歸	添	進	進
法	作	一	一
。	。	。	。
四	六	八	十
進	進	進	進
二十	三十	四十	五十

割え算之の圖



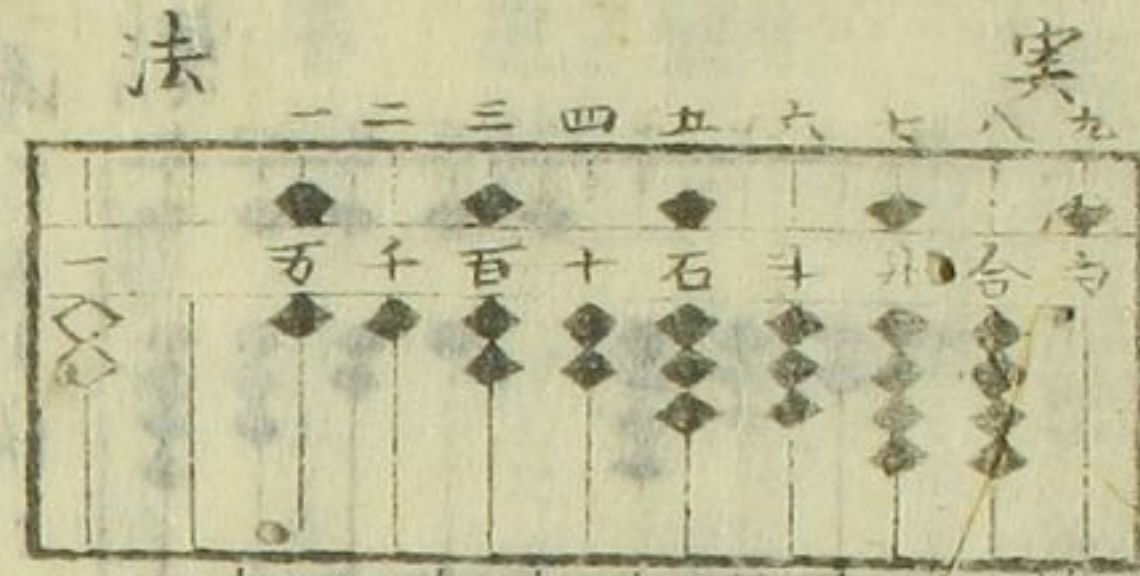
- 註曰二進一十と八物枚ニニを二りふ割と似るを云其數一より九まで故九歸と名一歸ハ所得高  
 原數の如し仍法を立以餘一より九まで八歸を倍は八算といふ  
 今米拾二万三千四百五拾六石七斗八升九合と云ふ割何程と問
- ① 八進四十と云ふは八并のをも四加ひ二添作せしむを五ふつる
  - ② 八進四十と云ふは八并のをも四加ひ二添作せしむを五ふつる
  - ③ 八進四十と云ふは八并のをも四加ひ二添作せしむを五ふつる
  - ④ 六進三十と云ふは六并のをも三加ひ二添作せしむを五ふつる
  - ⑤ 六進三十と云ふは六并のをも三加ひ二添作せしむを五ふつる
  - ⑥ 六進三十と云ふは六并のをも三加ひ二添作せしむを五ふつる
  - ⑦ 四進二十と云ふは四并のをも二加ひ二添作せしむを五ふつる
  - ⑧ 四進二十と云ふは四并のをも二加ひ二添作せしむを五ふつる
  - ⑨ 二進一十と云ふは二并のをも一加ひ二添作せしむを五ふつる
  - ⑩ 二進一十と云ふは二并のをも一加ひ二添作せしむを五ふつる

術曰実へ拾二万三千四百五拾六石七斗八升九合を法二を割  
 算ハ法と云ふは合法の教りゆは先法の二を以て其の前の一を二添作五と割又  
 次の二を二進一十と割又次の三の内二并二進一十と割殘一を二添作五と割又次の  
 四の内二并二十と割又次の五の内二并四進二十と割殘一を二添作五と割又次の  
 六の内二并六十と割又七の内三并九升九合を白と考ふ

今身六万子七石二拾八石九斗九升四合五分を三合何種と  
答格二万三千四百六拾六石七斗八升九合

二	四	法	一	二	二	一	二	四	二	三	六	二	四	八
二	五	十	二	六	十	二	七	十	四	一	八	十	六	十

懸算之の算圖



法と元合教のまき... 術曰実六万子七石二拾八石九斗九升四合五分を三合何種と問  
答格二万三千四百六拾六石七斗八升九合

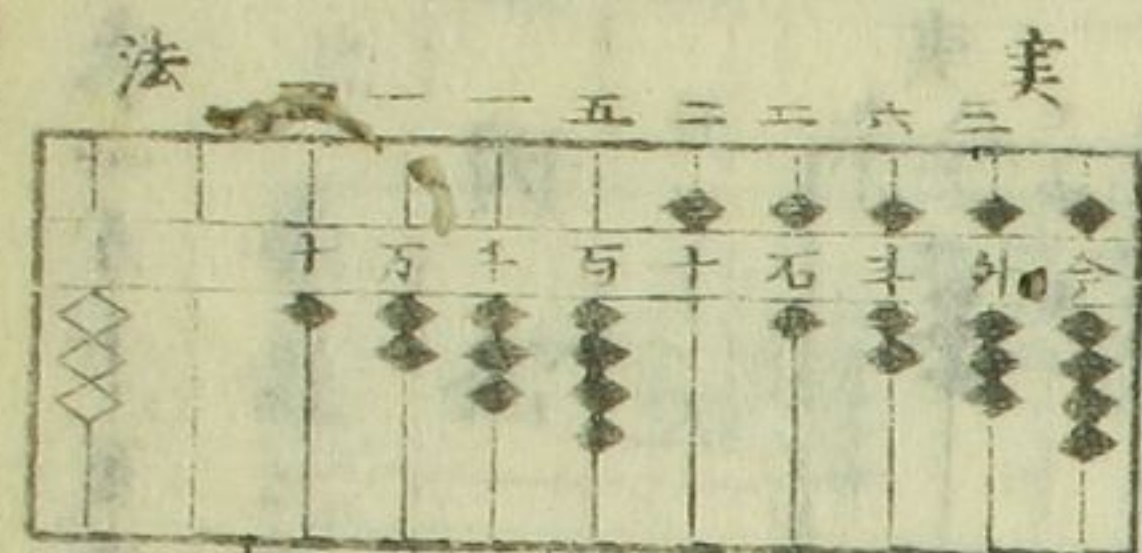
- ① 二五十とひきかきまを二よつろ
- ② 二四八とひきかきまを二よつろ
- ③ 二九十八とひきかきまを二よつろ
- ④ 二二六とひきかきまを二よつろ
- ⑤ 二八十六とひきかきまを二よつろ
- ⑥ 二二四とひきかきまを二よつろ
- ⑦ 二七十四とひきかきまを二よつろ
- ⑧ 二二二とひきかきまを二よつろ
- ⑨ 二六十二とひきかきまを二よつろ

今米拾二万三千四百五拾六石七斗八升九合を三割何程と問  
答四万五千五百五拾二石二斗六升三合

三	進	法	三	一	三	一	三	二	六	十
三	進	十	六	進	二	九	進	三	十	

註曰三進一十とハ物数三ツを三ツと割るハ元の数を三ツと割るハ一ツより故に三を掛十の  
折一進一とハ義あり六進二ハ三進一トを二度尋らう九進三ハ二進一トを三度尋らう三三二ハ  
実の一も一折へ右へをうらるときハ顆数十ヲ九進三ト割るときハ原一のり三三三ハ三進一の  
けこし残一多ゆへ三二ハ三トの一あり三三六ハ三三三トを二度尋らう

割算之の算圖



- ① 九進十とひきかきまを二よつろ
- ② 九進三とひきかきまを二よつろ
- ③ 六進十とひきかきまを二よつろ
- ④ 六進三とひきかきまを二よつろ
- ⑤ 六進十とひきかきまを二よつろ
- ⑥ 六進三とひきかきまを二よつろ
- ⑦ 三進十とひきかきまを二よつろ
- ⑧ 三進三とひきかきまを二よつろ
- ⑨ 三進十とひきかきまを二よつろ

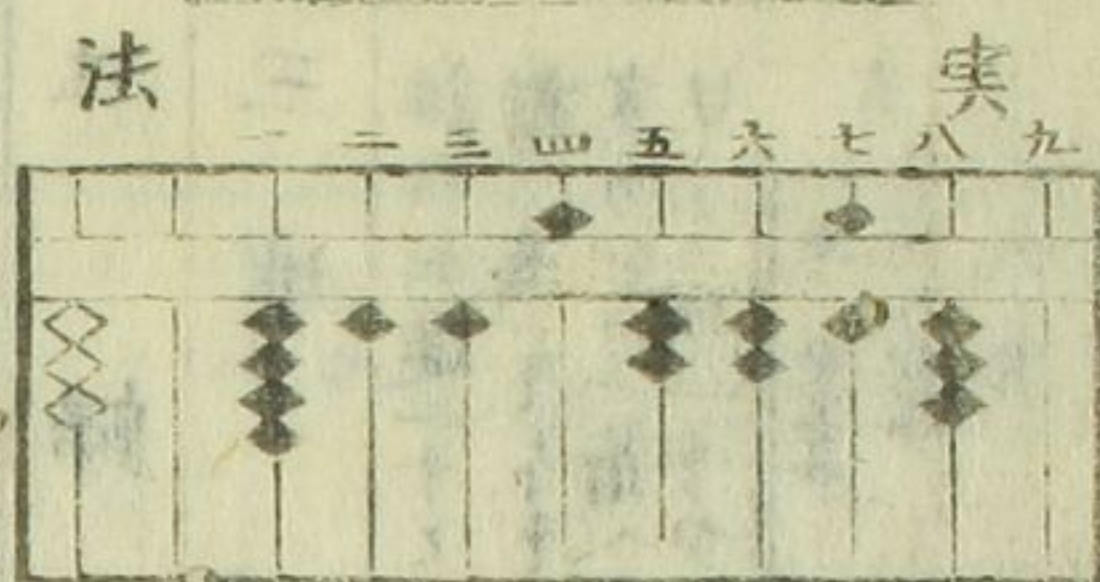
術曰美拾二万三千四百五拾六石七斗八升九合を三割法へ三を置いて圖の如く割四万五千五百五拾二石二斗六升三合と知あり



今米四万千五百拾二石二斗六升三合を三ッ合て何程と問  
答拾二万三千四百五拾六石七斗八升九合

三	因	法	一	三	三	二	三	六	三	三	九	三	四	十二
二	五	十五	三	六	十八	三七	二十一	三八	二十四	三九	二十七			

懸算之の圖

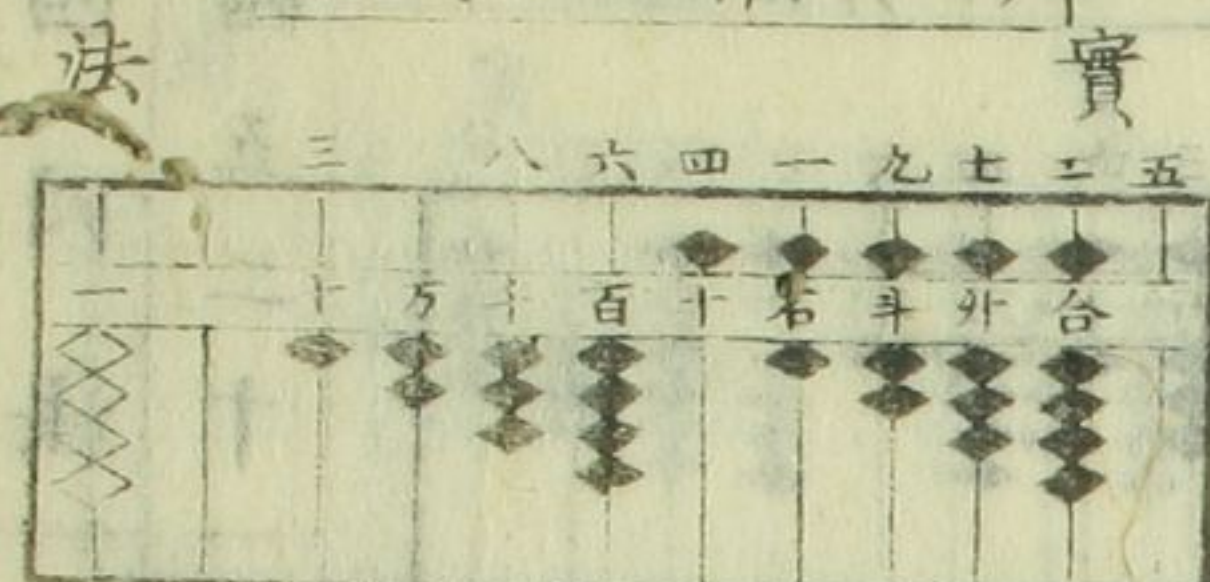


- ① 三三九とひいては三を掛次のり九をさ
- ② 三六八とひいては先は六をふつとつて後次のり八をさ
- ③ 二三六とひいては二を掛次のり六をさ
- ④ 二二六とひいては二を掛次のり六をさ
- ⑤ 三三三とひいては三を掛次のり九をさ
- ⑥ 三三三とひいては三を掛次のり九をさ
- ⑦ 三三三とひいては三を掛次のり九をさ
- ⑧ 三三三とひいては三を掛次のり九をさ
- ⑨ 三三三とひいては三を掛次のり九をさ

今米拾二万三千四百五拾六石七斗八升九合を三ッ合て何程と問  
答三万。八百六拾四石一斗九升七合二勺五抄

四 歸 法 四 一 二 十二  
四 三 七 十 二 六 十 八  
四 進 一 十 八  
四 二 添 作 五  
八 進 二 十

割算之の圖



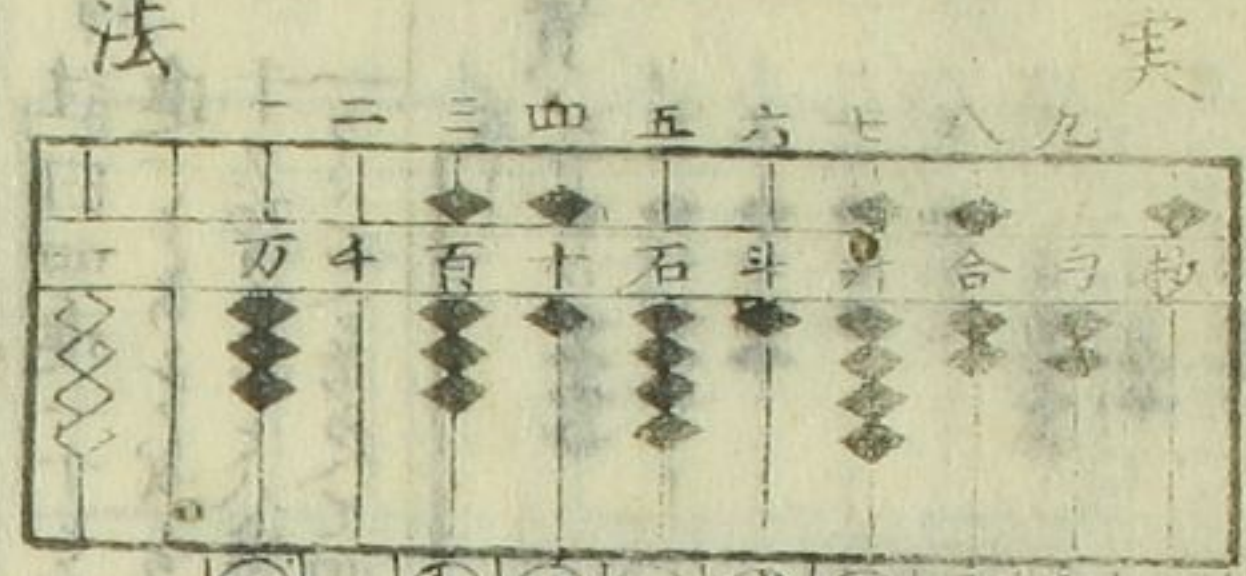
- ① 四進一とひいては四を掛次のり一をさ
- ② 四進一とひいては四を掛次のり一をさ
- ③ 四進一とひいては四を掛次のり一をさ
- ④ 四進一とひいては四を掛次のり一をさ
- ⑤ 四進一とひいては四を掛次のり一をさ
- ⑥ 四進一とひいては四を掛次のり一をさ
- ⑦ 四進一とひいては四を掛次のり一をさ
- ⑧ 四進一とひいては四を掛次のり一をさ
- ⑨ 四進一とひいては四を掛次のり一をさ

今米三万。八百六拾四石一斗九升七合二勺五抄を三ッ合て何程と問

答拾二万三千四百五拾六石七斗八升九合

四	因法	一四四	二四八	三四十二	四四十六
四五	二十	四六二十四	四七二十八	四八三十二	四九三十六

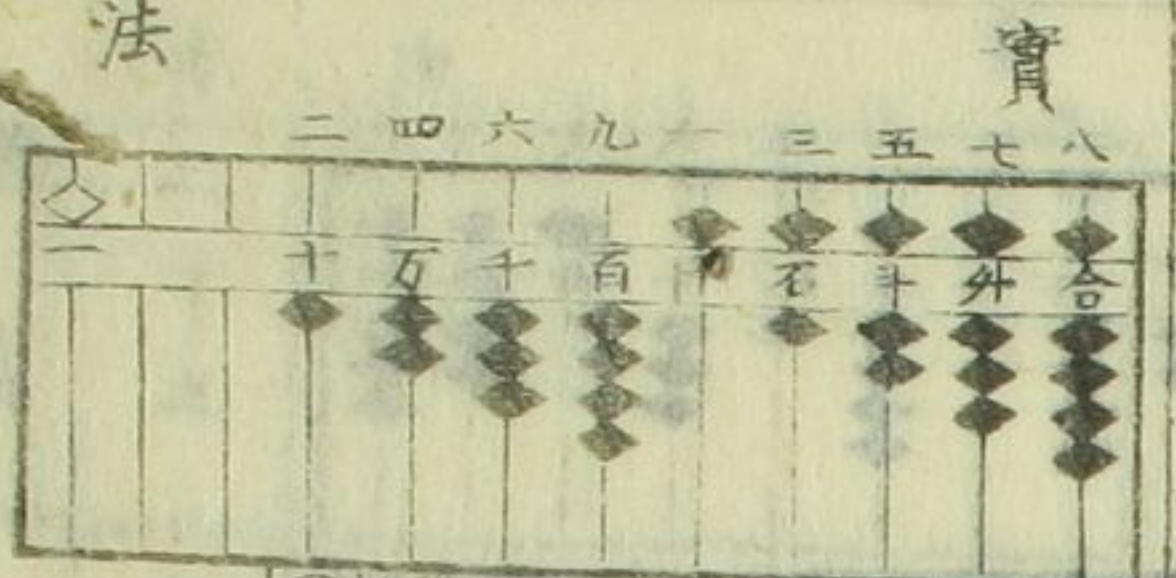
懸解の算之図



今米拾二万三千四百五拾六石七斗八升九合を五ツ割何程と問  
 答二万四千六百九拾一石三斗五升七合八勺

- ① 四五三十とゆつては五を二ふつろ。
  - ② 二四八十八とゆつては十とゆつて先三を拂て後決のたつてを併又ゆつては二加ふ。
  - ③ 四七二十八とゆつては七を二ふつろ決のたつては八とゆつろ。
  - ④ 四九三十六とゆつては九を三ふつろ決のたつては六とゆつろ。
  - ⑤ 一四四とゆつては四を四ふつろ決のたつては四とゆつろ。
  - ⑥ 四十六とゆつては四を二ふつろ決のたつては六とゆつろ。
  - ⑦ 四六二十四とゆつては六を二ふつろ決のたつては四とゆつろ。
  - ⑧ 四八三十二とゆつては八を三ふつろ決のたつては二とゆつろ。
  - ⑨ 三四十二とゆつては三を二ふつろ決のたつては二とゆつろ。
- 術曰實へ三万八百六拾四石二斗九升七合二勺五抄を置法へ四を並て圖の如く懸拾二万三千四百五拾六石七斗八升九合と知る。

割えの算之図



今米二万四千六百九拾一石三斗五升七合八勺を五ツ割何程と問

- ① 五進千とゆつては内併②のたつては五加四とゆつては四を八ふつろ。
  - ② 五進千とゆつては内併③のたつては五加三とゆつては三を六ふつろ。
  - ③ 五進千とゆつては内併④のたつては五加二とゆつては二を四ふつろ。
  - ④ 五進千とゆつては内併⑤のたつては五加一とゆつては一を二ふつろ。
  - ⑤ 五進千とゆつては内併⑥のたつては五加一とゆつては一を二ふつろ。
  - ⑥ 五進千とゆつては内併⑦のたつては五加一とゆつては一を二ふつろ。
  - ⑦ 五進千とゆつては内併⑧のたつては五加一とゆつては一を二ふつろ。
- 術曰實へ拾二万三千四百五拾六石七斗八升九合を置法へ五を置て圖の如く割二万四千六百九拾一石三斗五升七合八勺と知る。

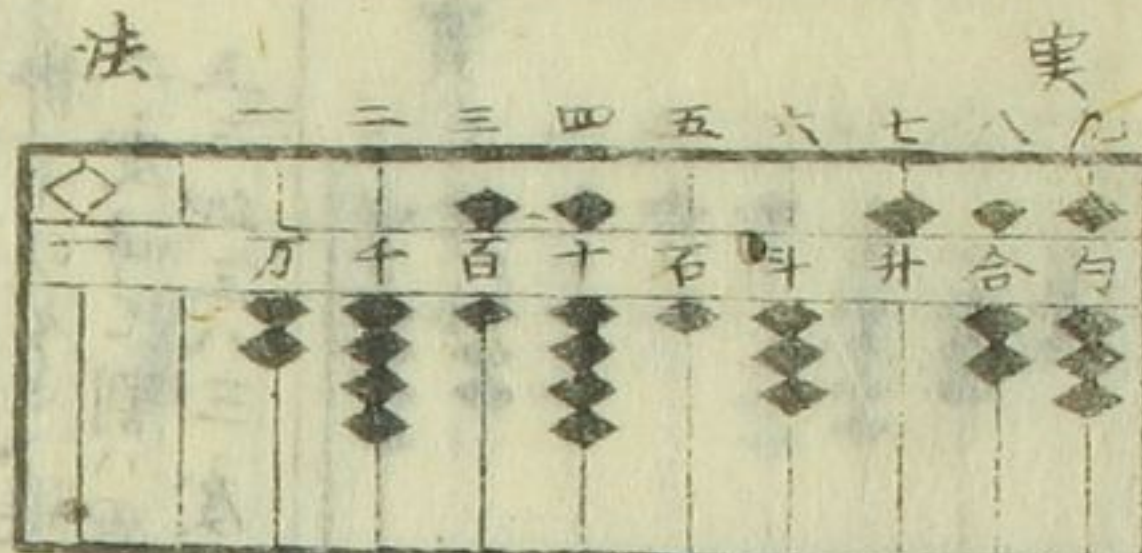
五 歸 法 外 五 一 加 一 五 二 加 二  
 五 三 加 三 五 四 加 四 五 五 加 五

註曰五進一十とハ物數五ツを五ツ割とての言葉あり五ツの物と五ツヲ割ハ一ツあり仍て五を併十のたつて進一とゆつては五加一ハ實の一を一併右並りのハ顆數十ツあり是を五進一十と二度併て割ハ原一並り併二と成り五二加一を併二と作る五二加二ハ五一加一を二度併とて五三加三ハ三度併とて五四加四ハ四度併とてあり

答拾二万三千四百五拾六石七斗八升九合

五	因法	一五五	二五	十	三五	十五	四五	二十
五	五	二五	三五	五七	三十五	五八	四十	五九
五	五	三十五	五七	三十五	五八	四十	五九	四十五

懸算の之の圖



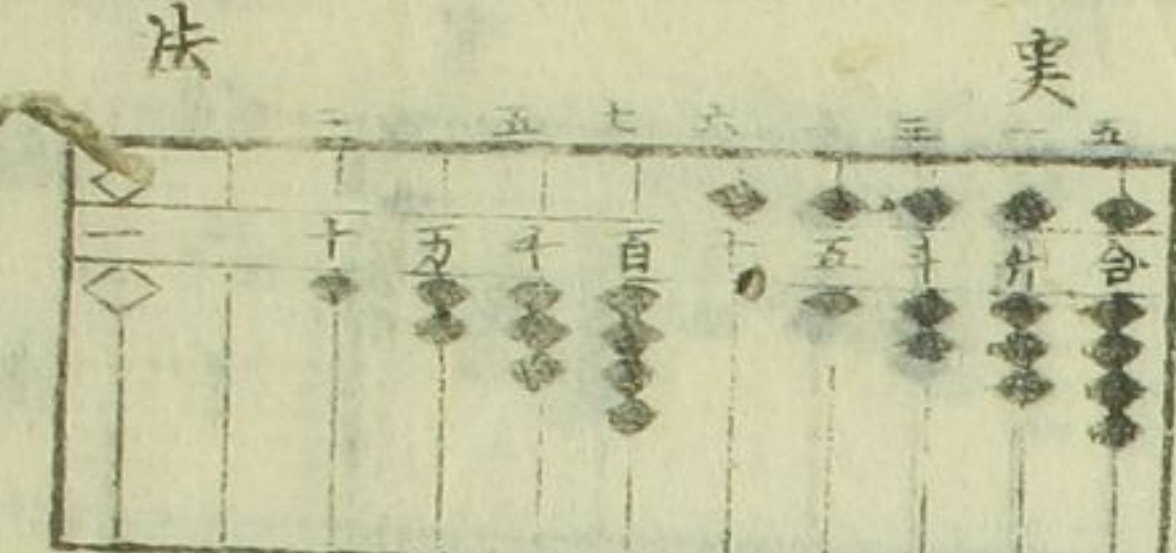
術曰實二万四千六百九拾一石三斗五升七合八勺を置法へ五を懸算の  
 如く懸拾二万三千四百五拾六石七斗八升九合と知あり  
 今米拾二万三千四百五拾六石七斗八升九合を六の割何程と問  
 答二万。五百七拾六石一斗三升一合五勺

六 歸 法 六一 下加四 六二 三十二

六三 添作五 六四 六十四 六五 八十二 六進 一十

註曰六進一とハ物數六ツを六ツ割し其の言葉あり六ツの袖を六ツ割ハ一ツあり仍六を掛  
 十の指へ進一とハ其の袖を六下加四の實の一を二右へ置ち其の願數十の右を六進一とハ割八原一  
 多しハ折とハ次の袖を四の右へ六一ハ下へ四を少る六三三六の二を右の指へ置ちて六進一とハ三  
 手なり六三添作五六四六十四六五八十二ハ皆一指右へ置ちて六進一とハ重て書るなり

割算の之の圖



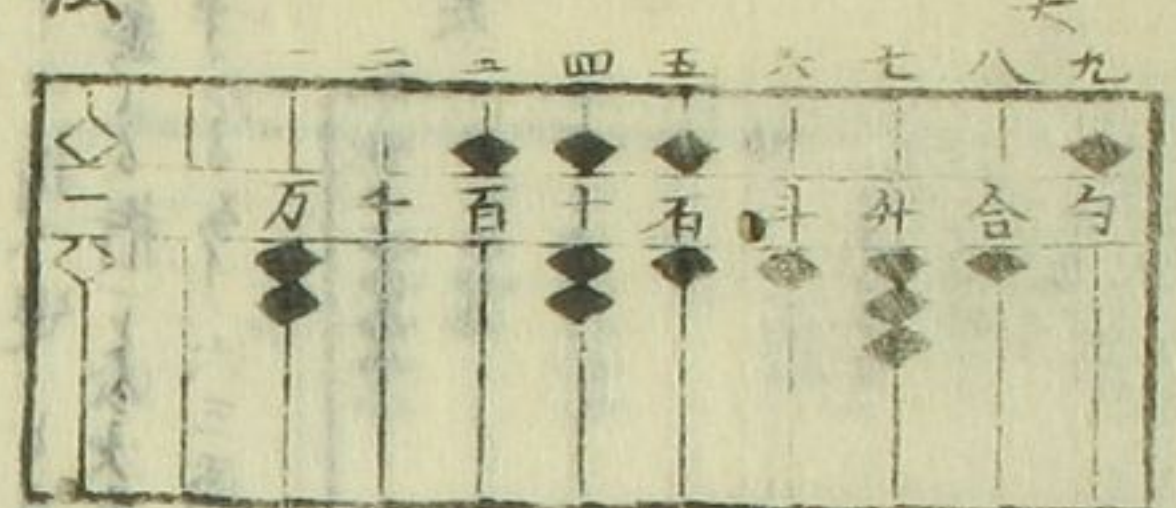
術曰實二万三千四百五拾六石七斗八升九合を置法へ六を懸算の  
 如く割二万。五百七拾六石一斗三升一合五勺と知あり  
 今米二万。五百七拾六石一斗三升一合五勺を六の割何程と問

六進一とハ物數六ツを六ツ割し其の言葉あり六ツの袖を六ツ割ハ一ツあり仍六を掛  
 十の指へ進一とハ其の袖を六下加四の實の一を二右へ置ち其の願數十の右を六進一とハ割八原一  
 多しハ折とハ次の袖を四の右へ六一ハ下へ四を少る六三三六の二を右の指へ置ちて六進一とハ三  
 手なり六三添作五六四六十四六五八十二ハ皆一指右へ置ちて六進一とハ重て書るなり

各拾二万三千四百五拾六石七斗八升九合

六	因	法	一六六	二六六	三六六	四六六	五六三
五	六	三	十	六	七	四	二
六	六	三	十	六	七	四	二
六	六	三	十	六	七	四	二
六	六	三	十	六	七	四	二
六	六	三	十	六	七	四	二
六	六	三	十	六	七	四	二
六	六	三	十	六	七	四	二
六	六	三	十	六	七	四	二
六	六	三	十	六	七	四	二

圖ツ之の算懸子



今米拾二万三千四百五拾六石七斗八升九合四勺を七割何程同  
 昔一万七千六百三拾六石六斗八升四合二勺

術曰実へ二万五千五百七拾六石一斗三升一合五勺を置法へ六を垂  
 圖の如く懸拾二万三千四百五拾六石七斗八升九合を

- ① 五六三十一の垂は五を垂る
- ② 六六十一の垂は六を垂る
- ③ 三六八十一の垂は三を垂る
- ④ 一六六十一の垂は一を垂る
- ⑤ 六六三十一の垂は六を垂る
- ⑥ 六六三十一の垂は六を垂る
- ⑦ 五六三十一の垂は五を垂る
- ⑧ 二六三十一の垂は二を垂る

七・歸法 七一下加三 七二下加六 七三四十一  
 七四五十一 七五七十一 七六八十四 七進一十

註曰七進一十の場数は七を割る事七の倍を七割ハ一ツを仍七を掛十の初へ進一する  
 後七進一十の場数は七を割る事七の倍を七割ハ一ツを仍七を掛十の初へ進一する  
 七進一十の場数は七を割る事七の倍を七割ハ一ツを仍七を掛十の初へ進一する

圖ツ之の算割

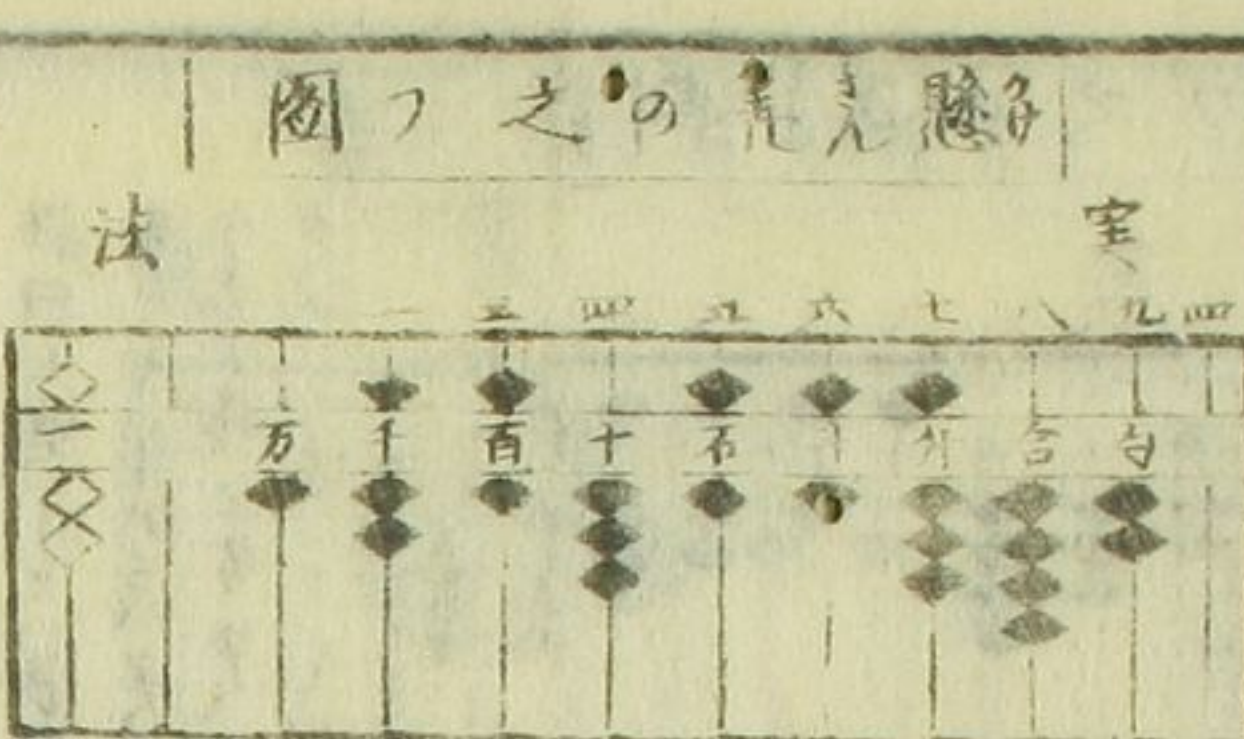


術曰實へ拾二万三千四百五拾六石七斗八升九合四勺を置法へ十を垂圖の  
 めく割一カ七千六百三拾六石六斗八升四合二勺を七割何程同

當世改算部

答拾二万三千四百五拾六石七斗八升九合四勺

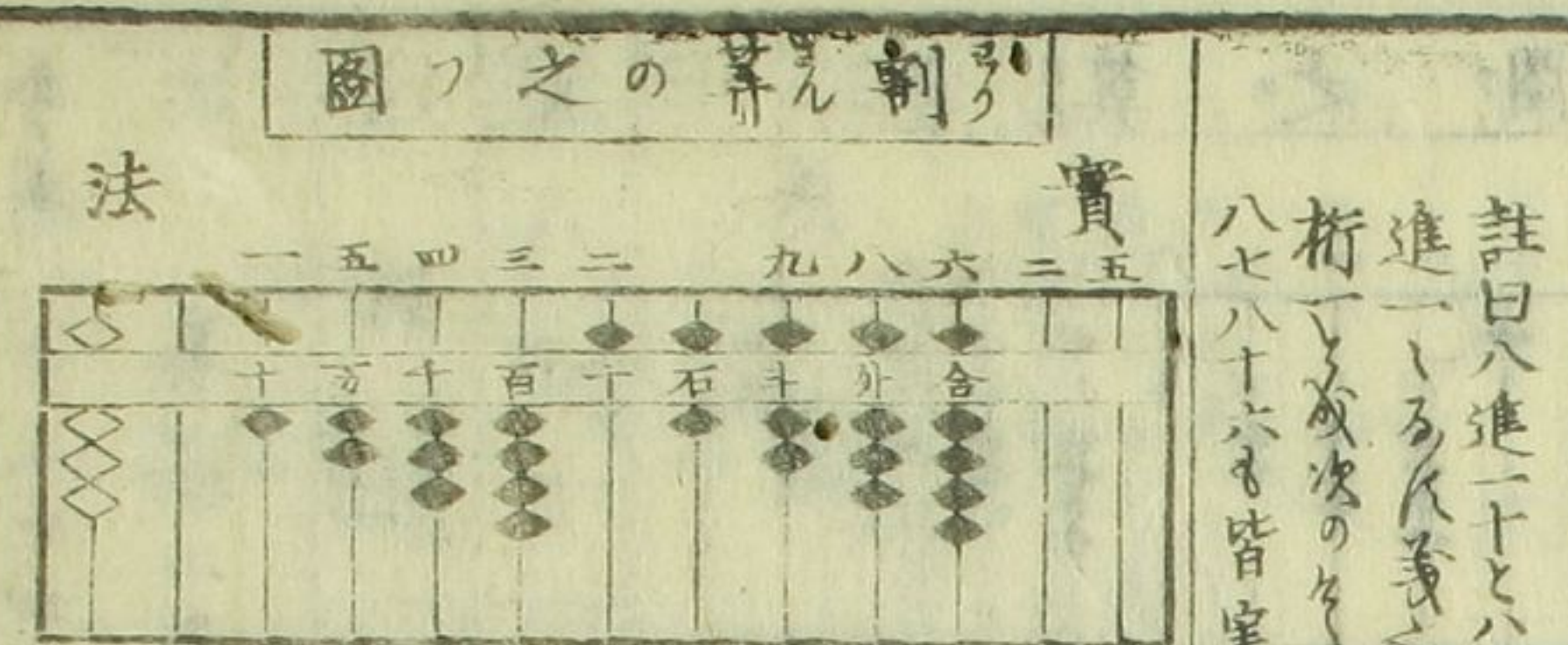
七	四	法	七七	二七十四	三七二十一	四七二十八
五	七	三十五	六七	四十二	七七四十九	七八五十六
						七九六十三



註曰八進二十と八物数八をハツ割とよき言葉ハツの物をハツ割ハツ又仍ハを掛十のりへ  
進一する義ハ二下加下二八実のをハツ割とよき言葉ハツの物をハツ割ハツ又仍ハを掛十のりへ  
折一と成次のをハツ割とよき言葉ハツの物をハツ割ハツ又仍ハを掛十のりへ  
八七八十六も皆実の数一々も右に並べて八進一十をを呼ぶなり

術曰実一拾二万三千四百五拾六石七斗八升九合を法ハ八を並て圖の  
如く割一萬五千四百三拾二石九斗八合六勺二抄五撮と知なり

八	四	添	作	五	八	五	六	十	二	八	六	七	十	四	八	七	八	十	六	八	進	一	十



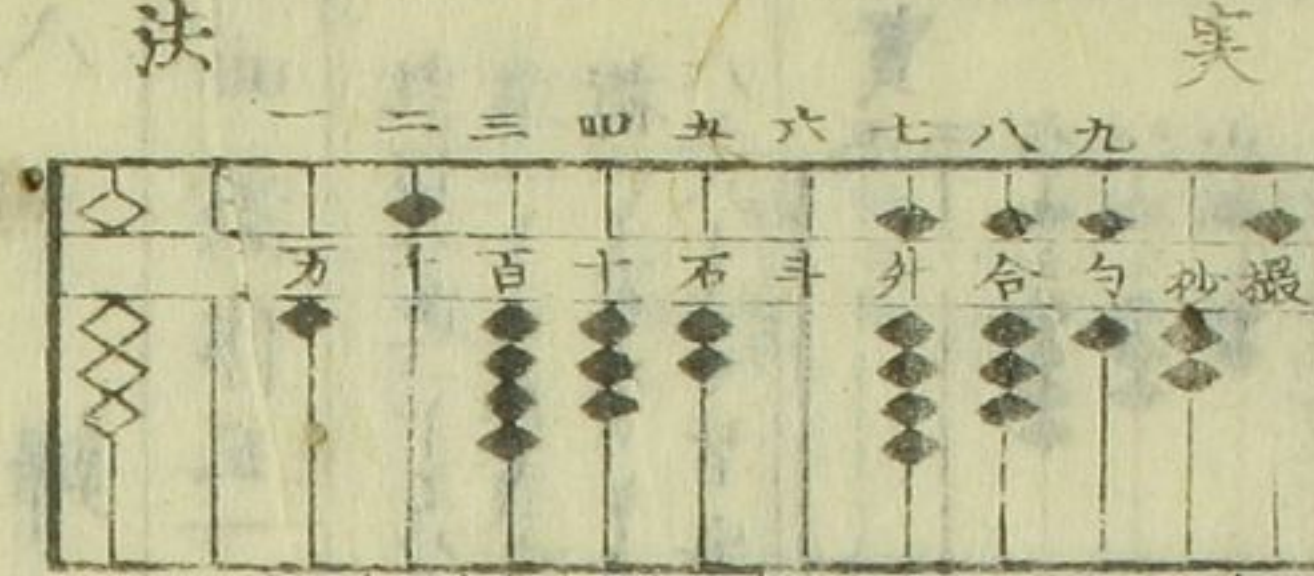
註曰八進二十と八物数八をハツ割とよき言葉ハツの物をハツ割ハツ又仍ハを掛十のりへ  
進一する義ハ二下加下二八実のをハツ割とよき言葉ハツの物をハツ割ハツ又仍ハを掛十のりへ  
折一と成次のをハツ割とよき言葉ハツの物をハツ割ハツ又仍ハを掛十のりへ  
八七八十六も皆実の数一々も右に並べて八進一十をを呼ぶなり

術曰実一拾二万三千四百五拾六石七斗八升九合を法ハ八を並て圖の  
如く割一萬五千四百三拾二石九斗八合六勺二抄五撮と知なり

今米一万五千四百三拾二石。九升八合六勺二抄五撮を八ッ合て何程と同  
答拾二万三千四百五拾六石七斗八升九合

八	因法	一八八	二八	十	三	八	二	四	四	八	三	二
五	八	四	十	六	八	四	十	八	七	八	六	十

懸算之圖



① 五八四十のついでに五を四にうつす。  
 ② 二八十六は四をその十のついでに先六を二にうつす。後次の十の要を掛又はついでに二が  
 ③ 六八四十八は二をその十のついでに先六を四にうつす。後次の十の要を掛又はついでに二が  
 ④ 八八六十四は八をその十のついでに先六を四にうつす。後次の十の要を掛又はついでに二が  
 ⑤ 八九七十二は九をその十のついでに先六を七にうつす。後次の十の要を掛又はついでに二が  
 ⑥ 二八十六のついでに二を二にうつす。後次の十の要を掛又はついでに二が  
 ⑦ 三八二十四のついでに三を二にうつす。後次の十の要を掛又はついでに二が  
 ⑧ 四八三十二のついでに四を三にうつす。後次の十の要を掛又はついでに二が  
 ⑨ 五八四十のついでに五を四にうつす。  
 術曰 実へ拾二万三千四百三拾二石。九升八合六勺二抄五撮と置法へ八と  
 置圖の如く掛拾二万三千四百五拾六石七斗八升九合と答あり

今米拾二万三千四百五拾六石七斗八升九合を九ッ割何程と同

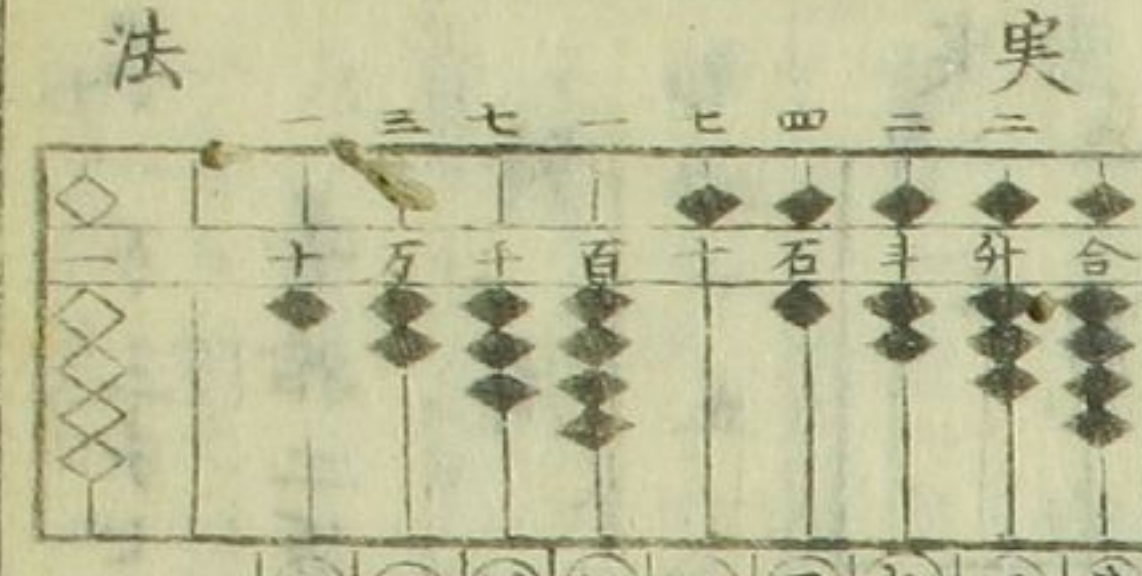
答一万三千七百拾七石四斗二升一合

九 歸法

九	一	下	加	一	九	二	下	加	二	九	三	下	加	三	九	四	下	加	四				
九	五	下	加	五	九	六	下	加	六	九	七	下	加	七	九	八	下	加	八	九	進	一	十

註曰 九進一十とハ物数九を九ッ割と此の言葉九の物を九ッ割ハ一ッに仍て九を掛十のものを  
 進一とあるを義九一下加一ハ実の一を二桁右へうつすハ顆数十を九進一とハ割ハ原  
 置たる術一と減次の術を幾一とゆへ九一八下一ハかる九二下加三九四下加四九五下加五九六下加六  
 九七下加七九八下加八ハ皆九一下加一を重て呼ぶるあり

割え算之の圖

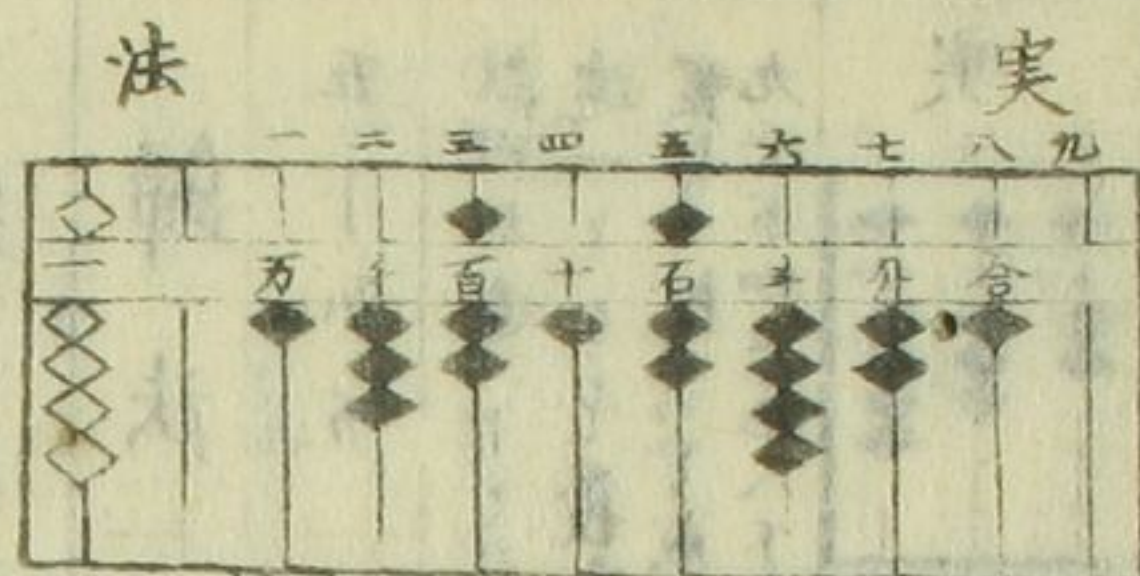


① 九進一十のついでに九を掛のついでに二が  
 ② 九進一十のついでに九を掛のついでに二が  
 ③ 九進一十のついでに九を掛のついでに二が  
 ④ 九進一十のついでに九を掛のついでに二が  
 ⑤ 九進一十のついでに九を掛のついでに二が  
 ⑥ 九進一十のついでに九を掛のついでに二が  
 ⑦ 九進一十のついでに九を掛のついでに二が  
 ⑧ 九進一十のついでに九を掛のついでに二が  
 ⑨ 九進一十のついでに九を掛のついでに二が  
 術曰 実へ拾二万三千四百五拾六石七斗八升九合を置法へ九を重て圖の如く  
 割一万三千七百拾七石四斗二升一合と答あり

今承一万三千七百拾七石四斗二升一合を九つ合て何れと同  
答拾二万三千四百五拾六石七斗八升九合

九	因	法	一	九	九	二	九	十	八	三	九	二	十	七	四	九	三	十	六					
五	九	四	十	五	六	九	五	十	四	七	九	六	十	三	八	九	七	十	二	九	九	八	十	一

懸念の算之の図



歸除

術曰実一万三千七百拾七石四斗二升一合を九つ合て何れと同  
答拾二万三千四百五拾六石七斗八升九合と如く  
 (一) 一九九とひては一をさしひ次の九九とひ  
 (二) 二九十八とひては二をさしひ次の九九とひ  
 (三) 三九十七とひては三をさしひ次の九九とひ  
 (四) 四九十六とひては四をさしひ次の九九とひ  
 (五) 五九十五とひては五をさしひ次の九九とひ  
 (六) 六九十四とひては六をさしひ次の九九とひ  
 (七) 七九十三とひては七をさしひ次の九九とひ  
 (八) 八九十二とひては八をさしひ次の九九とひ  
 (九) 九九十一とひては九をさしひ次の九九とひ

法二位を割るを歸除とひ通名ありと算法新書に見へり  
 歸とハ割るの除と引くとのあり其數際限あり故に初段乃  
 名を用て倍不見一と云

今銀百匁を十六割何程と同  
 答銀六匁二分五厘

見一歸除法 見一無頭作九一 歸一倍一 一進一十 二進二十  
 三進三十 四進四十 五進五十 六進六十 七進七十 八進八十 九進九十

註曰一進一十とハ物數一ツを二ツ割ハ原の一ツあり仍て實の一を掛一桁左にさし  
 て十とあるべきあり二進二十より九進九十まで皆一進一十を重て呼ぶるあり見一  
 無頭作九一とハ法の一と實の首の一を一進一十と割ハ商を得る其一と法の次の數を見合九  
 又或は引くべき數より引くと一進一十を割て引くべき數は此のときさしひては九進九十  
 實の一を退けて一と右へさしひハ類數十とさしひて九進九十とさしひハ原の一を退  
 けたと九と減て右のさしひ殘一有ゆ名實の一を九一と作るとさしひるあり得一倍  
 一とさしひ割て引く數よりさしひるとき割りさしひるの内一をさしひて原の一を退けて一  
 あり見二以上皆同様あり





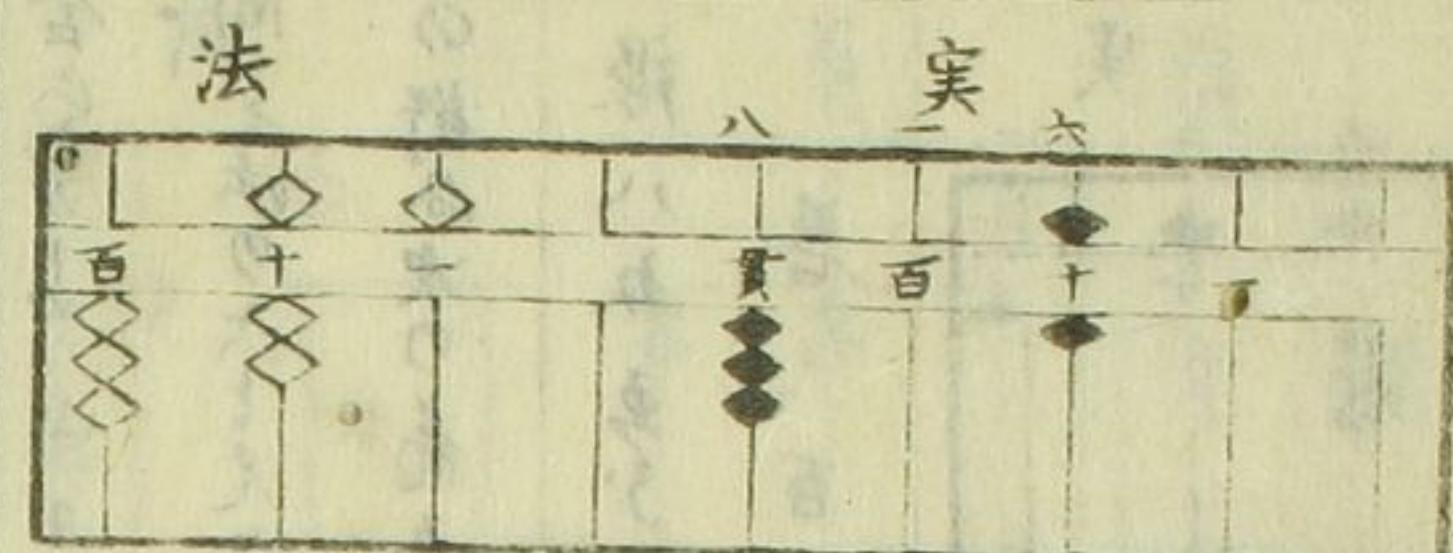


今題 二貫の六拾五を三百七拾五割何程と問

答 八匁を分六厘

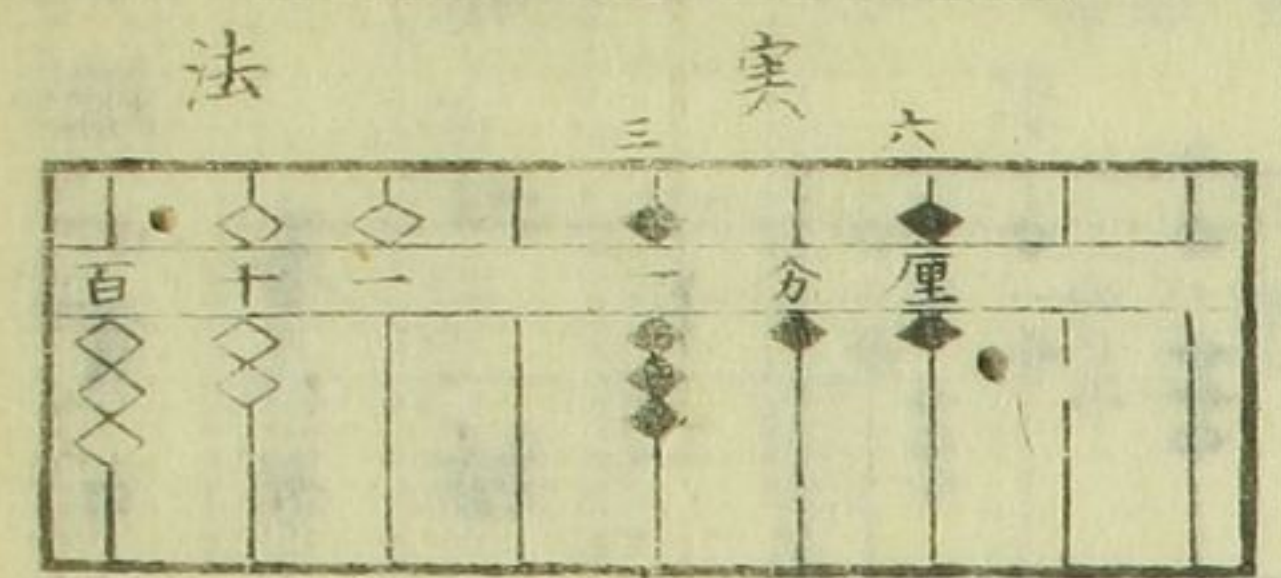
見三	歸除	法	見三	無頭	作九	三	歸一倍	三
三一	三十一	二六十二	三進	一十一	六進	二十	九進	三十

割算之の圖



① 五六三十引とてはたさるるを三引とす  
 ② 一五五引五幾とてはたさるるを二引とす  
 ③ 五五引五幾とてはたさるるを二引とす  
 ④ 五五引五幾とてはたさるるを二引とす  
 ⑤ 五五引五幾とてはたさるるを二引とす  
 ⑥ 五五引五幾とてはたさるるを二引とす  
 ⑦ 五五引五幾とてはたさるるを二引とす  
 ⑧ 五五引五幾とてはたさるるを二引とす  
 ⑨ 五五引五幾とてはたさるるを二引とす  
 ⑩ 五五引五幾とてはたさるるを二引とす

懸算之の圖



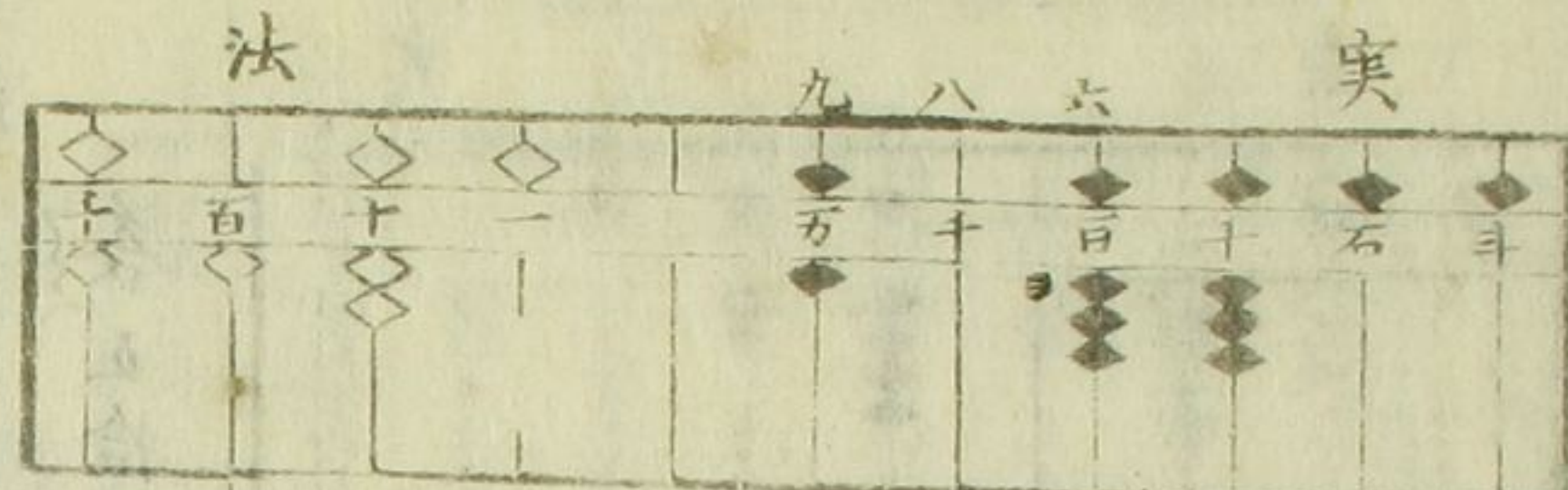
① 五六三十とてはたさるるを三引とす  
 ② 一五五引五幾とてはたさるるを二引とす  
 ③ 五五引五幾とてはたさるるを二引とす  
 ④ 五五引五幾とてはたさるるを二引とす  
 ⑤ 五五引五幾とてはたさるるを二引とす  
 ⑥ 五五引五幾とてはたさるるを二引とす  
 ⑦ 五五引五幾とてはたさるるを二引とす  
 ⑧ 五五引五幾とてはたさるるを二引とす  
 ⑨ 五五引五幾とてはたさるるを二引とす  
 ⑩ 五五引五幾とてはたさるるを二引とす

首の三より三進一割はの桁一次の商一を得向商と法の七と見合一七七三を引又及  
 商一と法の五と見合一五五実を引の桁二と成是を法の首の三と見合三三六十二と割ちの桁不  
 三の商六を得向商と法の七と見合六七五実を引又三の商六と法の五と見合五三三実を引併あり  
 今浪八匁を分六厘を三百七拾五合何程と問  
 答 三貫の六拾目





割る算の之の圖

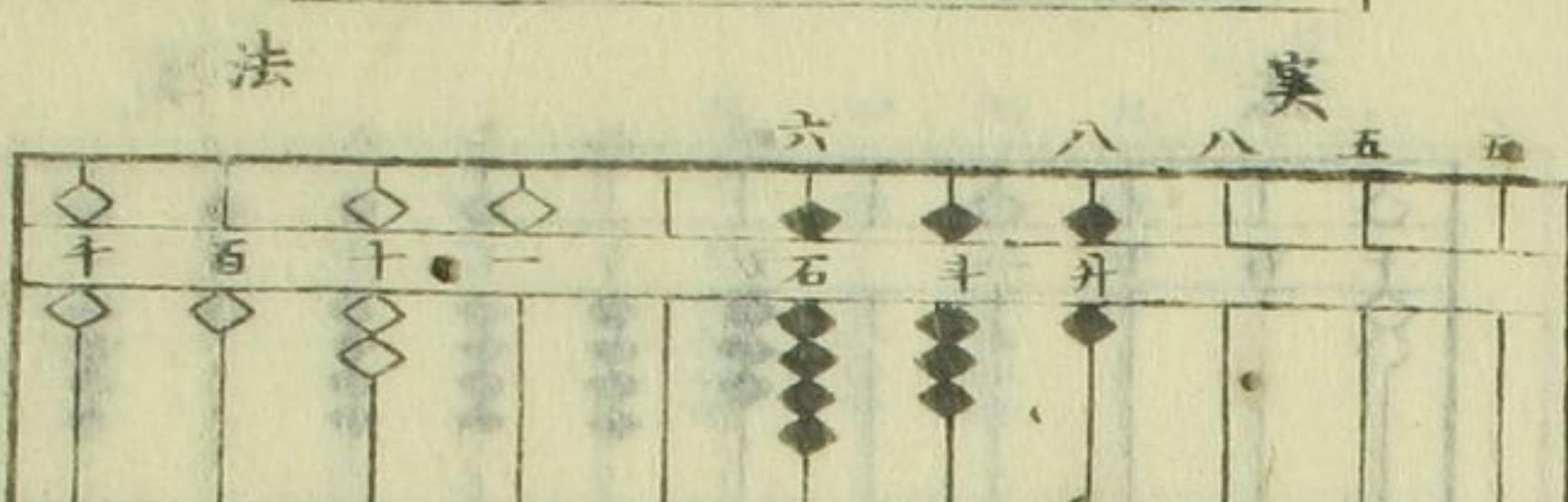


見六歸除法 見六無頭 作九六 歸一倍六 六一下加四  
 六二三十一 六三添作五 六四六十四 六五八十二 六進一十

- ① 五三引引よつて三をもらふ
- ② 五四引引よつて四をもらふ
- ③ 五九引引よつて九をもらふ
- ④ 七全引引よつて七をもらふ
- ⑤ 七九引引よつて九をもらふ
- ⑥ 八九引引よつて九をもらふ
- ⑦ 九九引引よつて九をもらふ

術曰実六万八千八百八拾五石五斗を置法六千七百七拾五と置て法の首の六を  
 実の首の六を見六無頭作九を割高九を得高九法の首の六を合九九実を引高九法の七と  
 見合七九六三実を引高九法の七を見合五五五五実を引決才如割九石八斗六升と知  
 今米九石八斗六升を六百七拾五合て何程と問  
 答六万八千八百八拾五石五斗

懸る算の之の圖



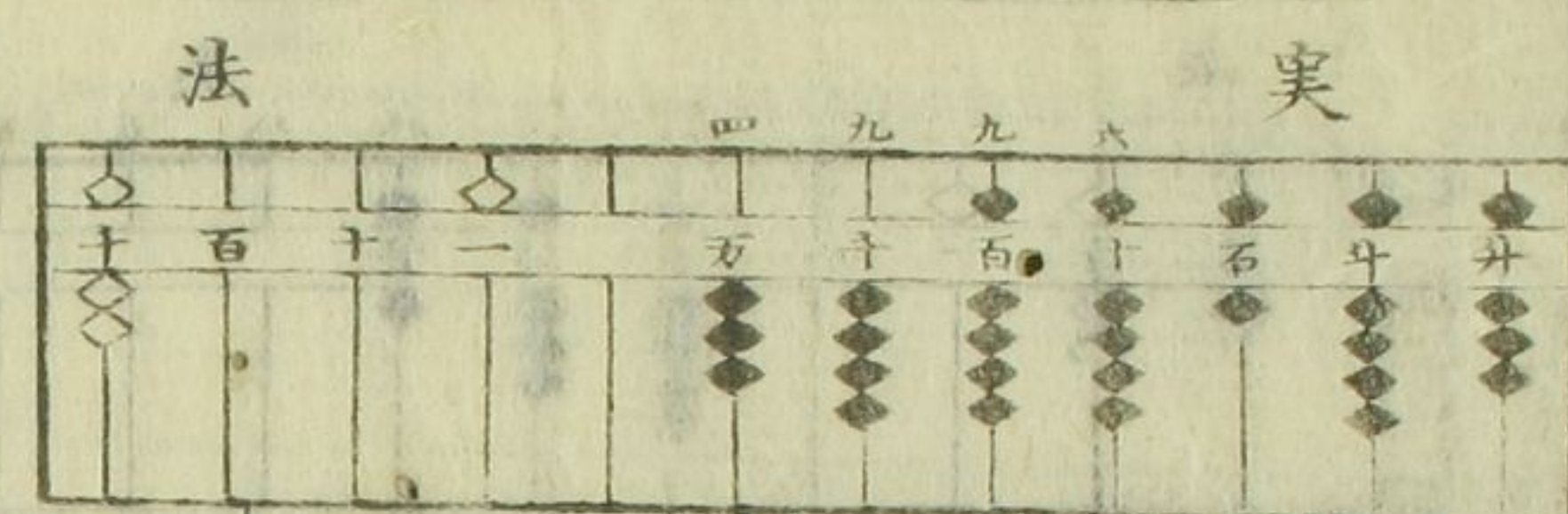
今米三万四千九百九拾六石九斗八升七合。五割何程と問  
 答四石九斗九升六合

- ① 五三引よつて三をもらふ
- ② 五四引よつて四をもらふ
- ③ 五九引よつて九をもらふ
- ④ 七全引よつて七をもらふ
- ⑤ 七九引よつて九をもらふ
- ⑥ 八九引よつて九をもらふ
- ⑦ 九九引よつて九をもらふ

三百廿五算記

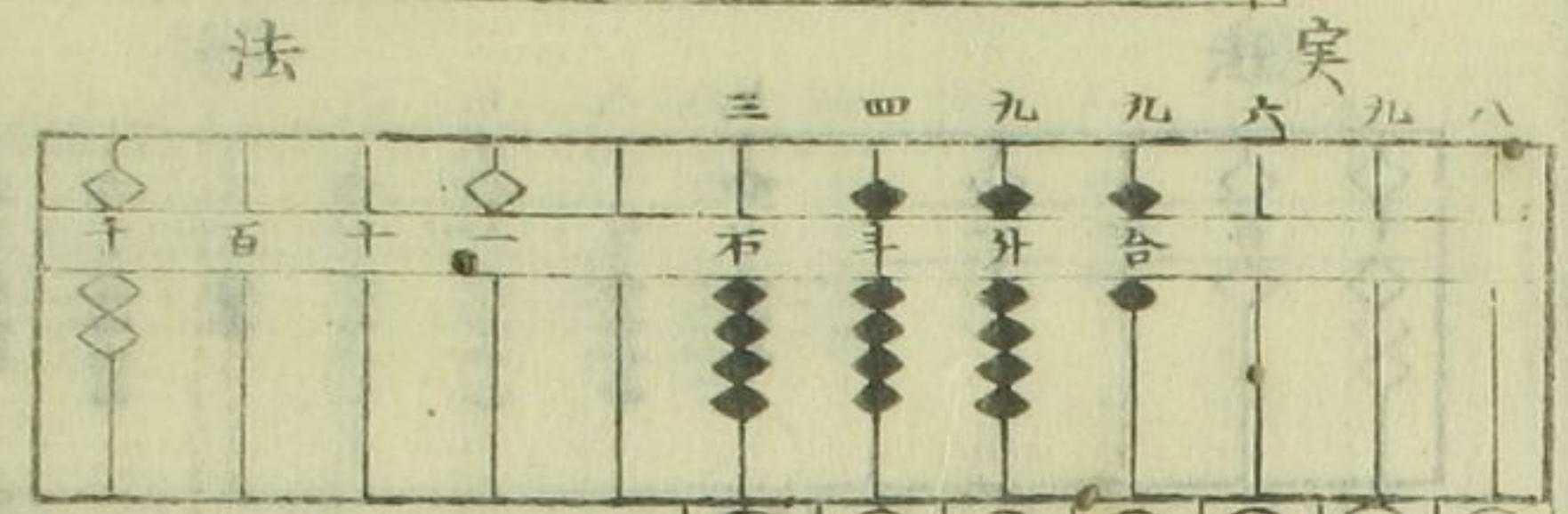
見七歸除法	見七無頭作九七	歸一倍七	七一下加三	七二下加六
七三四十二	七四五十五	七五七十一	七六八十四	七進一十

割り算の之のつ



① 五字引きて三を引る  
 ② 五五引きて四を引る  
 ③ 五五引きて四を引る  
 ④ 五五引きて四を引る  
 ⑤ 五五引きて四を引る  
 ⑥ 五五引きて四を引る  
 ⑦ 五五引きて四を引る  
 ⑧ 五五引きて四を引る  
 ⑨ 五五引きて四を引る  
 ⑩ 五五引きて四を引る  
 ⑪ 五五引きて四を引る  
 ⑫ 五五引きて四を引る  
 ⑬ 五五引きて四を引る  
 ⑭ 五五引きて四を引る  
 ⑮ 五五引きて四を引る  
 ⑯ 五五引きて四を引る  
 ⑰ 五五引きて四を引る  
 ⑱ 五五引きて四を引る  
 ⑲ 五五引きて四を引る  
 ⑳ 五五引きて四を引る  
 ㉑ 五五引きて四を引る  
 ㉒ 五五引きて四を引る  
 ㉓ 五五引きて四を引る  
 ㉔ 五五引きて四を引る  
 ㉕ 五五引きて四を引る  
 ㉖ 五五引きて四を引る  
 ㉗ 五五引きて四を引る  
 ㉘ 五五引きて四を引る  
 ㉙ 五五引きて四を引る  
 ㉚ 五五引きて四を引る  
 ㉛ 五五引きて四を引る  
 ㉜ 五五引きて四を引る  
 ㉝ 五五引きて四を引る  
 ㉞ 五五引きて四を引る  
 ㉟ 五五引きて四を引る  
 ㊱ 五五引きて四を引る  
 ㊲ 五五引きて四を引る  
 ㊳ 五五引きて四を引る  
 ㊴ 五五引きて四を引る  
 ㊵ 五五引きて四を引る  
 ㊶ 五五引きて四を引る  
 ㊷ 五五引きて四を引る  
 ㊸ 五五引きて四を引る  
 ㊹ 五五引きて四を引る  
 ㊺ 五五引きて四を引る  
 ㊻ 五五引きて四を引る  
 ㊼ 五五引きて四を引る  
 ㊽ 五五引きて四を引る  
 ㊾ 五五引きて四を引る  
 ㊿ 五五引きて四を引る

懸え算の之のつ

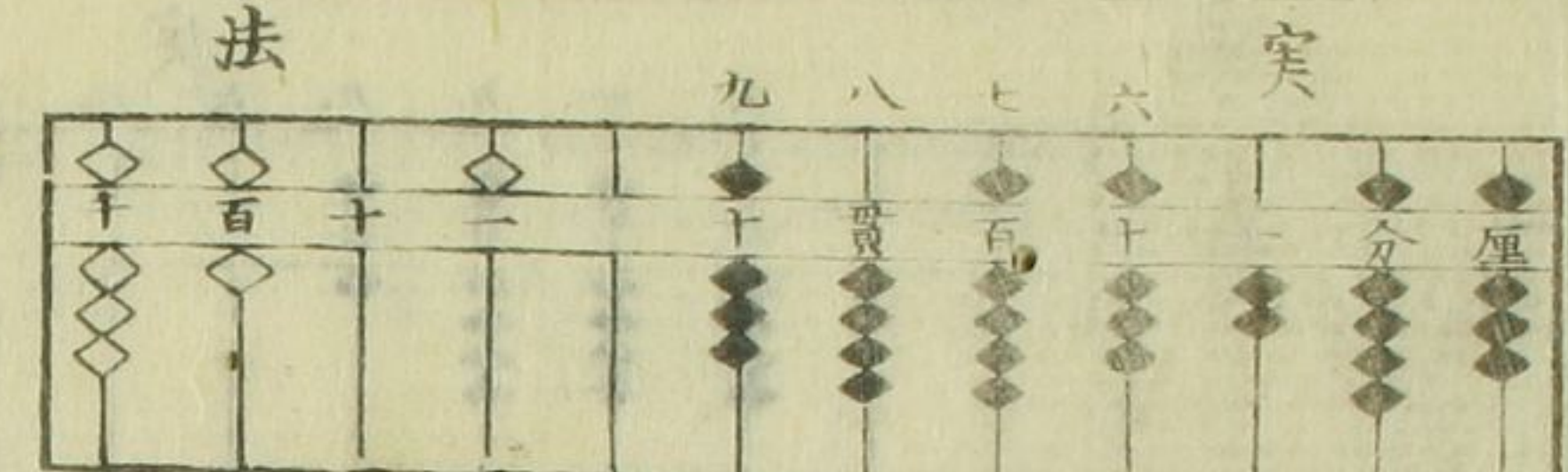


① 五五引きて四を引る  
 ② 五五引きて四を引る  
 ③ 五五引きて四を引る  
 ④ 五五引きて四を引る  
 ⑤ 五五引きて四を引る  
 ⑥ 五五引きて四を引る  
 ⑦ 五五引きて四を引る  
 ⑧ 五五引きて四を引る  
 ⑨ 五五引きて四を引る  
 ⑩ 五五引きて四を引る  
 ⑪ 五五引きて四を引る  
 ⑫ 五五引きて四を引る  
 ⑬ 五五引きて四を引る  
 ⑭ 五五引きて四を引る  
 ⑮ 五五引きて四を引る  
 ⑯ 五五引きて四を引る  
 ⑰ 五五引きて四を引る  
 ⑱ 五五引きて四を引る  
 ⑲ 五五引きて四を引る  
 ⑳ 五五引きて四を引る  
 ㉑ 五五引きて四を引る  
 ㉒ 五五引きて四を引る  
 ㉓ 五五引きて四を引る  
 ㉔ 五五引きて四を引る  
 ㉕ 五五引きて四を引る  
 ㉖ 五五引きて四を引る  
 ㉗ 五五引きて四を引る  
 ㉘ 五五引きて四を引る  
 ㉙ 五五引きて四を引る  
 ㉚ 五五引きて四を引る  
 ㉛ 五五引きて四を引る  
 ㉜ 五五引きて四を引る  
 ㉝ 五五引きて四を引る  
 ㉞ 五五引きて四を引る  
 ㉟ 五五引きて四を引る  
 ㊱ 五五引きて四を引る  
 ㊲ 五五引きて四を引る  
 ㊳ 五五引きて四を引る  
 ㊴ 五五引きて四を引る  
 ㊵ 五五引きて四を引る  
 ㊶ 五五引きて四を引る  
 ㊷ 五五引きて四を引る  
 ㊸ 五五引きて四を引る  
 ㊹ 五五引きて四を引る  
 ㊺ 五五引きて四を引る  
 ㊻ 五五引きて四を引る  
 ㊼ 五五引きて四を引る  
 ㊽ 五五引きて四を引る  
 ㊾ 五五引きて四を引る  
 ㊿ 五五引きて四を引る

今浪八拾四貫九百八拾二匁九分八厘を分六厘五割何程と同  
 答九匁八分七厘六毫

見八歸除法	見八無頭作九八	歸一倍八	八一下加二	八二下加四
八三下加六	八四添作五	八五六十二	八六七十四	八七八十六
			八進一十	

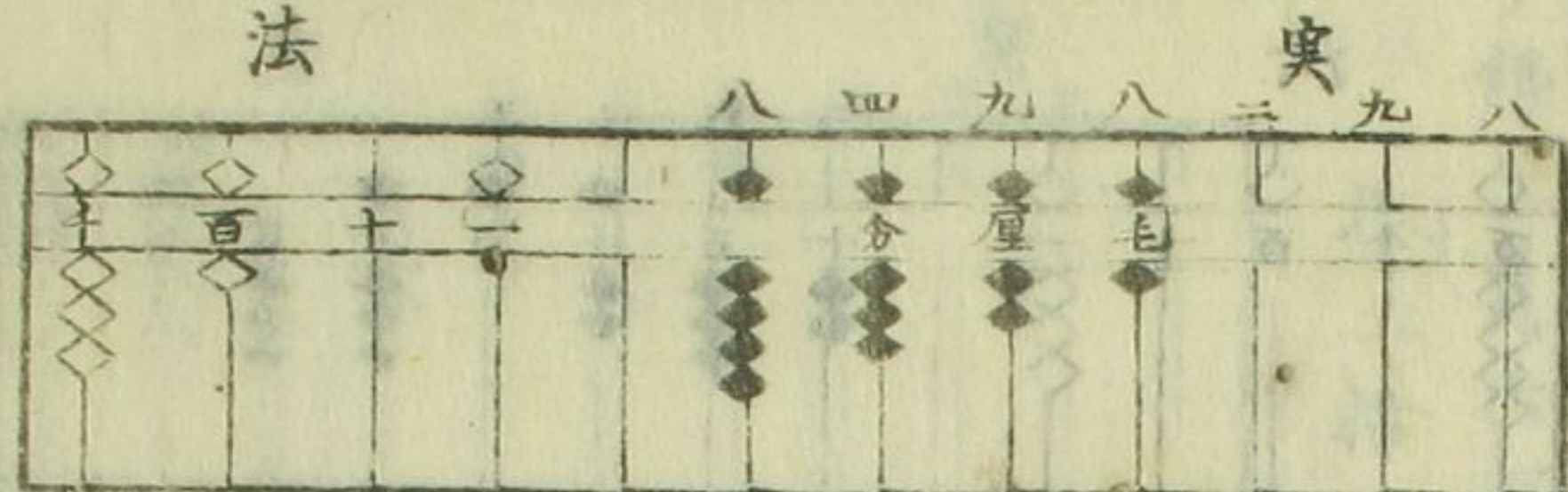
### 割算之圖



① 五六三引とては三を引くと  
 ② 五七三引とては五を引くと  
 ③ 五八三引とては五を引くと  
 ④ 五九三引とては五を引くと  
 ⑤ 六〇三引とては六を引くと  
 ⑥ 六一三引とては六を引くと  
 ⑦ 六二三引とては六を引くと  
 ⑧ 六三三引とては六を引くと  
 ⑨ 六四三引とては六を引くと  
 ⑩ 六五三引とては六を引くと  
 ⑪ 六六三引とては六を引くと  
 ⑫ 六七三引とては七を引くと  
 ⑬ 六八三引とては七を引くと  
 ⑭ 六九三引とては七を引くと  
 ⑮ 七〇三引とては七を引くと  
 ⑯ 七一三引とては七を引くと  
 ⑰ 七二三引とては七を引くと  
 ⑱ 七四三引とては七を引くと  
 ⑲ 七五三引とては七を引くと  
 ⑳ 七六三引とては七を引くと  
 ㉑ 七七三引とては七を引くと  
 ㉒ 七八三引とては八を引くと  
 ㉓ 七九三引とては八を引くと  
 ㉔ 八〇三引とては八を引くと  
 ㉕ 八二三引とては八を引くと  
 ㉖ 八四三引とては八を引くと  
 ㉗ 八五三引とては八を引くと  
 ㉘ 八六三引とては八を引くと  
 ㉙ 八七三引とては八を引くと  
 ㉚ 八八三引とては八を引くと  
 ㉛ 八九三引とては九を引くと  
 ㉜ 九〇三引とては九を引くと  
 ㉝ 九二三引とては九を引くと  
 ㉞ 九四三引とては九を引くと  
 ㉟ 九五三引とては九を引くと  
 ㊱ 九六三引とては九を引くと  
 ㊲ 九七三引とては九を引くと  
 ㊳ 九八三引とては九を引くと  
 ㊴ 九九三引とては九を引くと

今浪九取八すと九を八に引くと五合と何れも同  
 答 八拾四貫九百八拾二取九は八を

### 懸算之圖



① 五六三引とては三を引くと  
 ② 五七三引とては五を引くと  
 ③ 五八三引とては五を引くと  
 ④ 五九三引とては五を引くと  
 ⑤ 六〇三引とては六を引くと  
 ⑥ 六一三引とては六を引くと  
 ⑦ 六二三引とては六を引くと  
 ⑧ 六三三引とては六を引くと  
 ⑨ 六四三引とては六を引くと  
 ⑩ 六五三引とては六を引くと  
 ⑪ 六六三引とては六を引くと  
 ⑫ 六七三引とては七を引くと  
 ⑬ 六八三引とては七を引くと  
 ⑭ 六九三引とては七を引くと  
 ⑮ 七〇三引とては七を引くと  
 ⑯ 七一三引とては七を引くと  
 ⑰ 七二三引とては七を引くと  
 ⑱ 七四三引とては七を引くと  
 ⑲ 七五三引とては七を引くと  
 ⑳ 七六三引とては七を引くと  
 ㉑ 七七三引とては七を引くと  
 ㉒ 七八三引とては八を引くと  
 ㉓ 七九三引とては八を引くと  
 ㉔ 八〇三引とては八を引くと  
 ㉕ 八二三引とては八を引くと  
 ㉖ 八四三引とては八を引くと  
 ㉗ 八五三引とては八を引くと  
 ㉘ 八六三引とては八を引くと  
 ㉙ 八七三引とては八を引くと  
 ㉚ 八八三引とては八を引くと  
 ㉛ 八九三引とては九を引くと  
 ㉜ 九〇三引とては九を引くと  
 ㉝ 九二三引とては九を引くと  
 ㉞ 九四三引とては九を引くと  
 ㉟ 九五三引とては九を引くと  
 ㊱ 九六三引とては九を引くと  
 ㊲ 九七三引とては九を引くと  
 ㊳ 九八三引とては九を引くと  
 ㊴ 九九三引とては九を引くと

今浪二拾二万七千五百八拾三貫五百取九が。而百。八割何れも同。

答 一貫六百二拾五取

見九歸除法 見九無頭作九九  
 九四下加四 九六下加六  
 九五下加五 九七下加七  
 九一下加一 九二下加二  
 九三下加三 九八下加八  
 九進一十

割る算の之のつ

法	実
万	百
千	十
百	一
十	
一	

① 五八引...  
 術曰実と法一箇の如く置法のもとの九を実の...  
 下加と割①のもの...  
 二と法の...  
 五引と割あり

今根

二貫六万二千五百八拾三貫五...  
 答二拾三万七千五百八拾三貫五...  
 二と法の...  
 五引と割あり

懸る算の之のつ

法	実
万	百
千	十
百	一
十	
一	

① 五八引...  
 ② 二六六...  
 ③ 五五引...  
 ④ 二五八...  
 ⑤ 二五九...  
 ⑥ 二五九...  
 ⑦ 二五九...  
 ⑧ 二五九...  
 ⑨ 二五九...  
 ⑩ 二五九...  
 ⑪ 二五九...  
 ⑫ 二五九...  
 ⑬ 二五九...  
 ⑭ 二五九...  
 ⑮ 二五九...  
 ⑯ 二五九...  
 ⑰ 二五九...  
 ⑱ 二五九...  
 ⑳ 二五九...  
 ㉑ 二五九...  
 ㉒ 二五九...  
 ㉓ 二五九...  
 ㉔ 二五九...  
 ㉕ 二五九...  
 ㉖ 二五九...  
 ㉗ 二五九...  
 ㉘ 二五九...  
 ㉙ 二五九...  
 ㉚ 二五九...  
 ㉛ 二五九...  
 ㉜ 二五九...  
 ㉝ 二五九...  
 ㉞ 二五九...  
 ㉟ 二五九...  
 ㊱ 二五九...  
 ㊲ 二五九...  
 ㊳ 二五九...  
 ㊴ 二五九...  
 ㊵ 二五九...  
 ㊶ 二五九...  
 ㊷ 二五九...  
 ㊸ 二五九...  
 ㊹ 二五九...  
 ㊺ 二五九...  
 ㊻ 二五九...  
 ㊼ 二五九...  
 ㊽ 二五九...  
 ㊾ 二五九...  
 ㊿ 二五九...

當世改算言



○定位 係小題を位階とす

今人数二十五万人あり一人小米五合扶持す米石言何程と問

答米石言一千二百五十石

術曰米五合を粟と一人数<sup>二十五万人</sup>を法として算する石言を問

定位の之の圖

法 實

一	十	百	千	万
一	一	一	一	一
一	一	一	一	一
一	一	一	一	一
一	一	一	一	一

① 法を實の首位に置き法を退一位して止  
 ② 實の首位に法を置き法を退一位して止  
 ③ 實の首位に法を置き法を退一位して止  
 ④ 實の首位に法を置き法を退一位して止  
 ⑤ 實の首位に法を置き法を退一位して止  
 ⑥ 實の首位に法を置き法を退一位して止  
 ⑦ 實の首位に法を置き法を退一位して止  
 ⑧ 實の首位に法を置き法を退一位して止  
 ⑨ 實の首位に法を置き法を退一位して止  
 ⑩ 實の首位に法を置き法を退一位して止

定位の之の圖

法 實

一	十	百	千	万
一	一	一	一	一
一	一	一	一	一
一	一	一	一	一
一	一	一	一	一

① 法を實の首位に置き法を退一位して止  
 ② 實の首位に法を置き法を退一位して止  
 ③ 實の首位に法を置き法を退一位して止  
 ④ 實の首位に法を置き法を退一位して止  
 ⑤ 實の首位に法を置き法を退一位して止  
 ⑥ 實の首位に法を置き法を退一位して止  
 ⑦ 實の首位に法を置き法を退一位して止  
 ⑧ 實の首位に法を置き法を退一位して止  
 ⑨ 實の首位に法を置き法を退一位して止  
 ⑩ 實の首位に法を置き法を退一位して止

一算あり百の位に二算上の位に五算あり由一十二百五十石とある

今箱を小付帳百二十枚あり一箱一十二千足の帳何程と問

答銀一千五百六十貫目

術曰百二十枚を算として一万三千を法として算し懸銀高を問

掛け懸銀の位あり

是をた進て位を問

千 百 十 貫 百 一

實法を懸銀とす小教を問

前術の如く實の首位の法を法の首位に定即ち是より身千

百十。一とて退て一の位を止即ち此を實の首位の位即ち

定之位之圖

法										實									
五	十	百	千	萬	十	百	千	萬	十	百	千	萬	十	百	千	萬	十	百	千
五										十	百	千	萬	十	百	千	萬	十	百
										① 此桁を實の首位とす ② 此桁を法の一の位と定め進 ③ 此桁を實の首位とす ④ 此桁を法の一の位と定め進 ⑤ 此桁を實の首位とす ⑥ 此桁を法の一の位と定め進									

の位と定の位とす是は実法を自ら又(2)の位より左へ百。一貫。十貫。百貫。千貫。と進てそれハ掛ては高千貫の位小貫。少ハ一十五百六十貫目。今箱一万三千匹以價銀一千五百六十貫目を箱五匹の代銀何程と問

答箱五匹の代銀百二十貫

術曰價銀一千五百六十貫目を實とて箱五匹を法とて實を割

割算の定位ハ實の首位の(1)を法の一の位と定め左へ進む  
 一。十。百。千。万。法ハ万の位也(2)の位を止是より左へひて法を自ら

定之位之圖

法										實									
十	百	千	萬	十	百	千	萬	十	百	十	百	千	萬	十	百	千	萬	十	百
十										十	百	千	萬	十	百	千	萬	十	百
										① 此桁を實の首位とす ② 此桁を法の一の位と定め進 ③ 此桁を實の首位とす ④ 此桁を法の一の位と定め進 ⑤ 此桁を實の首位とす ⑥ 此桁を法の一の位と定め進									

て實を割一二を倍(1)の位を實のより千の位より一。百。十。一貫。百。と退き  
 九ハ高小也(2)の位故に百二十貫とす

答一千二百五十石を人数二十五万人ハ割減て人数何程と問

答千人分五合

術曰人数二十五万人を法とて一千二百石を實とて法を以割て人数何程と問

左へ一。十。百。千。万。十。万。と進む  
 但し法の首位  
 ①の位を實の首位とす  
 ②の位を法の一の位と定め進  
 ③の位を實の首位とす  
 ④の位を法の一の位と定め進  
 ⑤の位を實の首位とす  
 ⑥の位を法の一の位と定め進

止是於法を以実を割商<sup>しう</sup>五を<sup>ゆ</sup>②の桁を<sup>実</sup>の首位千と定<sup>め</sup>是<sup>を</sup>千  
百十一石一斗一升一合と退き<sup>ら</sup>九八高ハ合の位不<sup>考</sup>ら<sup>ぬ</sup>高<sup>を</sup>合<sup>と</sup>し<sup>る</sup>方

今張八貫目を紙を<sup>買</sup>あ<sup>う</sup>紙<sup>を</sup>枚<sup>を</sup>枚<sup>に</sup>換<sup>へ</sup>紙<sup>數</sup>何<sup>程</sup>と同  
答紙數四十万枚

術曰有<sup>り</sup>限<sup>目</sup>八貫<sup>を</sup>實<sup>と</sup>して<sup>紙</sup>一枚<sup>代</sup>限<sup>重</sup>を<sup>以</sup>法<sup>と</sup>して<sup>實</sup>を<sup>割</sup>紙<sup>數</sup>を得<sup>る</sup>

定之位之圖

法 實

圖の如く八貫目を<sup>實</sup>とし<sup>て</sup>二<sup>厘</sup>を<sup>法</sup>とし<sup>て</sup>位<sup>を</sup>定<sup>む</sup>  
算の左<sup>に</sup>一<sup>千</sup>上<sup>を</sup>法<sup>の</sup>一<sup>位</sup>と<sup>定</sup>め<sup>る</sup>右<sup>に</sup>一<sup>分</sup>と<sup>進</sup>め<sup>る</sup>  
退き<sup>加</sup>法<sup>厘</sup>の<sup>と</sup>止<sup>は</sup>是<sup>を</sup>法<sup>を</sup>以<sup>て</sup>實<sup>を</sup>割<sup>商</sup>①

①法厘位より<sup>進</sup>止<sup>は</sup>又<sup>②</sup>と<sup>る</sup>②千位<sup>の</sup>首位<sup>と</sup>し<sup>て</sup>是<sup>を</sup>より<sup>進</sup>  
③法厘位より<sup>進</sup>止<sup>は</sup>又<sup>④</sup>と<sup>る</sup>④千<sup>の</sup>首位<sup>と</sup>し<sup>て</sup>是<sup>を</sup>より<sup>進</sup>  
⑤法厘位より<sup>進</sup>止<sup>は</sup>又<sup>⑥</sup>と<sup>る</sup>⑥千<sup>の</sup>首位<sup>と</sup>し<sup>て</sup>是<sup>を</sup>より<sup>進</sup>  
⑦法厘位より<sup>進</sup>止<sup>は</sup>又<sup>⑧</sup>と<sup>る</sup>⑧千<sup>の</sup>首位<sup>と</sup>し<sup>て</sup>是<sup>を</sup>より<sup>進</sup>

④を<sup>法</sup>の<sup>首位</sup>と<sup>し</sup>て<sup>是</sup>を<sup>より</sup>進<sup>め</sup>  
⑤を<sup>法</sup>の<sup>首位</sup>と<sup>し</sup>て<sup>是</sup>を<sup>より</sup>進<sup>め</sup>  
⑥を<sup>法</sup>の<sup>首位</sup>と<sup>し</sup>て<sup>是</sup>を<sup>より</sup>進<sup>め</sup>  
⑦を<sup>法</sup>の<sup>首位</sup>と<sup>し</sup>て<sup>是</sup>を<sup>より</sup>進<sup>め</sup>  
⑧を<sup>法</sup>の<sup>首位</sup>と<sup>し</sup>て<sup>是</sup>を<sup>より</sup>進<sup>め</sup>

相場割

永一貫文ハ 金一兩 永七百五十文ハ 金三分 永五百文ハ 金二分

永二百五十文ハ 金一分 永百二十五文ハ 金二朱 永六十二文五分ハ 金一朱

永<sup>の</sup>近<sup>代</sup>名<sup>の</sup>殘<sup>り</sup>て<sup>通</sup>用<sup>止</sup>當<sup>時</sup>ハ<sup>金</sup>の<sup>名</sup>目<sup>不</sup>用<sup>た</sup>ス<sup>ハ</sup>金<sup>一</sup>兩<sup>を</sup>買<sup>ふ</sup>割<sup>と</sup>

二分五厘と成<sup>即</sup>金<sup>一</sup>分<sup>あり</sup>二<sup>分</sup>五<sup>厘</sup>と<sup>金</sup>一<sup>分</sup>と<sup>の</sup>字<sup>同</sup>なり<sup>て</sup>進<sup>め</sup>  
しき<sup>り</sup>ハ<sup>二</sup>分<sup>五</sup>厘<sup>を</sup>永<sup>二</sup>百<sup>五</sup>拾<sup>五</sup>文<sup>と</sup>し<sup>て</sup>金<sup>一</sup>分<sup>を</sup>五<sup>分</sup>と<sup>し</sup>て<sup>進</sup>め<sup>る</sup>  
五百文<sup>と</sup>し<sup>て</sup>皆<sup>永</sup>と<sup>心</sup>得<sup>へ</sup>此<sup>餘</sup>準<sup>して</sup>知<sup>る</sup>へ<sup>る</sup>

今兩替錢六貫五百文銀一匁の代銀何程と同  
答錢百。八文

術曰兩替錢<sup>六</sup>貫<sup>五</sup>百<sup>を</sup>置<sup>倍</sup>して<sup>十三</sup>定<sup>法</sup>を<sup>以</sup>て<sup>調</sup>錢<sup>百</sup>。四<sup>文</sup>を得<sup>る</sup>目<sup>錢</sup>四<sup>文</sup>  
を<sup>加</sup>代<sup>錢</sup>を得<sup>る</sup>

解曰兩替錢<sup>六</sup>貫<sup>五</sup>百<sup>と</sup>して<sup>定</sup>法<sup>九</sup>分<sup>六</sup>厘<sup>を</sup>掛<sup>調</sup>錢<sup>九</sup>分<sup>六</sup>厘<sup>と</sup>成<sup>果</sup>を<sup>得</sup>る<sup>は</sup>四<sup>十八</sup>文<sup>兩</sup>替<sup>銀</sup>  
六十文<sup>割</sup>限<sup>五</sup>分の<sup>代</sup>八<sup>毛</sup>を得<sup>る</sup>限<sup>五</sup>分の<sup>定</sup>法<sup>を</sup>以<sup>て</sup>是<sup>を</sup>依<sup>り</sup>て<sup>兩</sup>替<sup>銀</sup>を<sup>倍</sup>して<sup>五</sup>分の

錢銀金

定法八毛を以て一の代法を得る若し或は銀一兩の時ハも銀一兩を以て定法九分六厘を以て割除ハ前術の如くして一の代法を得る

金一分の代法一貫六百二十四文にして銀一分の代法を問

答代法百。八文

術曰一分の代法 一貫六百二十四文 を至端錢二十四文を定法 九分六厘 して割是定法の 六厘 を以て割除ハ前術の如くして一の代法を得

解曰金一分の代法一貫六百二十四文を以て銀一分の代法を問

金二朱の代法八百十二文にして銀一分の代法何程と問

答代法百。八文

術曰二朱の代法 八百十二文 を至十二文を定法 九分六厘 して割是定法 八厘 を以て割除ハ前術の如くして一の代法を得

解曰二朱の代法八百十二文を以て銀一分の代法を問

古術の兩替銀定六十月目にして省淺通用の地ハ限る若し兩替銀高下も随て

或ハ調錢通用の術を用べし

兩替銀六貫五百八十四文而替銀六十二文にして銀一分の代法何程と問

答代法百。六文

術曰兩替銀 六貫五百八十四文 を至百文以上定法 九分六厘 を以て割除ハ前術の如くして一の代法を得

浪一分の代法百。八文にして兩替銀何程と問

答兩替銀六貫五百文

術曰一分の代法を至内目銀四文を引 調錢通用 兩替浪を以て割除ハ前術の如くして一の代法を得

浪一分の代法百。八文にして浪五文にして代法何程と問

答代法五百九拾二文

術曰百。八文を至内目銀四文を引浪 五文 を以て割除ハ前術の如くして一の代法を得

法九分を以て割代法を得。

浪一匁の残百。八文より七浪一貫九百四十八文の代浪何種と同。

答浪十八匁

術曰浪一匁の残百。八文の内目浪四文引調浪四文を得。法を以て割代浪を得。

壹百文以上定法九分を以て割代浪を得。

兩替残六貫五百六拾文より七浪三子四百四拾五貫三百拾二文の代金を同

答金五百二十五兩

術曰兩替残六貫五百を以て割代法九分を以て割代浪を得。法を以て割代浪を得。

兩替残六貫五百より七浪七百三拾文の代法何種と同

答浪四百三十三文二分

術曰兩替残六貫五百以上定法九分を以て割代法九分を以て割代浪を得。

以上定法九分を以て割代法を得。

浪五匁の残五百四拾文より七浪六匁五分の代法何種と同

答浪七百。四文

術曰浪五匁を以て割代法九分を以て割代浪を得。

を以て割代法九分を以て割代法を得。

兩替残六貫五百三十二文より七浪六匁四分三厘の代法何種と同

答浪四子二百三拾八貫。八拾八文

術曰兩替残六貫五百を以て割代法九分を以て割代浪を得。

六百四十八兩永六。法を以て割代法九分を以て割代法を得。

米一石二斗五升の代金一兩より七浪五分二厘米何種と同

答米九斗三升七合五勺

術曰米一石二斗五升を以て割代法九分を以て割代法を得。

米三斗五升の代限二十五文ふして限三十五文ふ米何程と同

答米四斗九升

術曰米三斗五升を置限三十文を掛二十五文を得。實より限二十文を法よりして実を

割米四斗九升を得。

米一石二斗の代金一兩より今四斗五升八六拾儀の代金を同

答金二十二兩二分

術曰俵数六を置入四斗を減七十文を得。金一兩の米一石を以て割。永五百文を得。

永五百文を金かどと申す。代金を得る。

省減百文ふ米一升二合より減七十二文。ふ米何程と同。乃し九十六文を百文

答米七合五文

術曰減二十文を減より九十六文を以て割。米七合を得。

金一兩より九斗七升五合替りて今減百文ふ米何程と同。兩替減六貫五百文

答米一升五合

術曰米九斗七升を置實より兩替減六貫五百文を法よりして實を割。百文の米一升を得。

將油八升の代金一兩より七斗八升の代金何程と同

答代金一万五千五百兩

術曰指敷八升を置金七貫五の指を以て割。金一万五千五百兩を得。

醬油一樽八升代限七匁八分より一升の代限何程と同

答減百。五文四分

術曰兩替減六貫五百文を置百文以上定法九分を置。調錢六貫二百文。減限八分をうけ

實より一樽の八升へ兩替限六十文を得。法よりして實を割。一升の代限

味噌七十貫目の代金一兩より味噌五千四百十二貫目の代金何程と同

答金七十七兩一分限之匁

術曰味噌五十貫目を置一兩の味噌七十貫目を以て割。金七十七兩一分限之匁を得。永三百文

文引金一分と以残永<sup>五十八</sup>兩替銀<sup>六十</sup>を<sup>金七十七兩</sup>得る

味噌七百五十目の代残百文ありて残三百二十四文不味噌何程と同

答味噌二貫四百三拾七目五分

術曰残<sup>二百二十四文</sup>を<sup>五</sup>に<sup>二十四文</sup>を定法<sup>九分</sup>を以て割省残<sup>三百二十四文</sup>を得<sup>二百</sup>文の

味噌<sup>七百五十目</sup>を<sup>五</sup>に<sup>二十四文</sup>を定法<sup>九分</sup>を以て割省残<sup>三百二十四文</sup>を得<sup>二百</sup>文の

棋

棋百二十束の代金を兩より今三十六束の代銀何程と同

答銀十八匁

術曰兩替銀<sup>六十</sup>を<sup>五</sup>に<sup>二十四文</sup>を定法<sup>九分</sup>を以て割省残<sup>三百二十四文</sup>を得<sup>二百</sup>文の

金一兩不換八十束替ありて今一束の代残何程と同 兩替残六貫五百文

答残七十八匁

術曰兩替残<sup>六十</sup>を<sup>五</sup>に<sup>二十四文</sup>を定法<sup>九分</sup>を以て割省残<sup>三百二十四文</sup>を得<sup>二百</sup>文の

酒

酒一樽入<sup>五升</sup>の代銀七十五匁ありて銀三十匁酒何程と同

答酒を<sup>斗</sup>四外

術曰酒入<sup>五升</sup>を<sup>五</sup>に<sup>二十四文</sup>を定法<sup>九分</sup>を以て割省残<sup>三百二十四文</sup>を得<sup>二百</sup>文の

上酒を<sup>升</sup>の代銀三匁六分下酒一升代銀三匁ありて上酒二升の替下酒を同

答下酒二升四合

術曰上酒<sup>二升</sup>を<sup>五</sup>に<sup>二十四文</sup>を定法<sup>九分</sup>を以て割省残<sup>三百二十四文</sup>を得<sup>二百</sup>文の

替る酒の外<sup>二升</sup>を<sup>四合</sup>を<sup>五</sup>に<sup>二十四文</sup>を定法<sup>九分</sup>を以て割省残<sup>三百二十四文</sup>を得<sup>二百</sup>文の

答残五百文

術曰一升の代<sup>三十分</sup>を<sup>五</sup>に<sup>二十四文</sup>を定法<sup>九分</sup>を以て割省残<sup>三百二十四文</sup>を得<sup>二百</sup>文の

塩一升の代残二十四文ありて今八十四文不塩何程と同

答塩三升五合

術曰錢八十を五錢二十を以て割塩三升五合を得。

金一兩小炭五俵勢小一俵の代錢を問。但し兩替錢六貫五百文

答錢一貫二百文

術曰兩替錢六貫五百文を百文以上定法加を以て割一俵の代錢を以て

炭一俵の代錢四百廿四文小一俵十五俵の代錢何程と問

答錢六貫三百七十二文

術曰一俵の錢四百二十文を百文以上定法九を以て割一俵の代錢を以て

茶一斤但目二百目代銀六匁五分小一匁二拾七匁三茶何程と問

答茶八百四十目

術曰銀二百目を五匁一分の代目二百を以て割茶八百四十目を得

茶一斤の代錢三百文一と十七斤の代錢を問

答錢五貫百文

術曰斤數十七を五匁一分の代三百を以て茶十七の代錢を得

金一兩多葉粉十五斤替一匁九匁七十九斤半の代金何程と問

答金六十五兩一分銀三匁

術曰斤數九百七十を五匁一分の斤數十五を以て割六十五兩一分銀三匁を得

多葉粉一斤代錢三匁三十二文一と六斤半の代錢を問

答錢二貫百六十四文

術曰一斤代錢三百三十二文を五匁一分以上定法九を以て割三百三十二文を得

紙半紙一代銀二十五匁一と一帖一の代錢を問

但し兩替銀六十目 兩替錢六貫五百文

多葉粉

紙



答錢二十六文

術曰兩替錢六貫五を五匁以上定法九分六厘を以て割代金六貫二百四十文を以て割代金拾五兩永五拾五文を得

美濃紙百八十帖の代金三兩二匁を以て六十帖の代銀何帖と同

答銀七拾日

術曰金三匁永を五匁留銀六十を以て割代金二百を以て割代銀六十を得

木材

檜いのき一本二分五厘但一尺角長二間を以て代金一兩を以て割代金一兩の本銀一匁二を以て割代銀六十を得

答金三匁銀六匁八分四厘

術曰幅九厚八を以て割代金一兩の本銀一匁二を以て割代銀六十を得

三寸角二間木二十五本を五寸角二間木六換て木敷何帖と同

答木敷九本

術曰三寸を以て木敷二十を以て割代金一兩の本銀一匁二を以て割代銀六十を得

糸

術曰糸を以て目十八匁の代銀十匁を以て目三十七匁八分の代銀何帖と同

答銀二十一匁

術曰糸を以て目十八匁の代銀十匁を以て目三十七匁八分の代銀何帖と同

木綿糸を以て目八百二拾目の代金一兩を以て目拾二貫二百四拾五匁一分の代金を以て

答金拾五兩銀二匁二分

兩替銀六十日

術曰糸を以て目十二匁三四を以て代金一匁を以て目八百二を以て割代金拾五兩永五拾五文を得

五文を得永五拾八兩替銀六十を以て割代銀を得

綿

其綿五目二拾五匁の代浪六匁ありて浪九拾六匁不足律何極と同

答其綿四百目

術曰浪<sup>九十一匁</sup>一匁目<sup>二十</sup>を益意を以て代浪<sup>六匁</sup>を以て其を割其綿の五目を得

糸綿五目八十五匁の代浪三百匁ありて浪四百四十八匁不足律を目何極と同

答糸綿を目百二十七匁五分

術曰浪<sup>四百四十八匁</sup>を置十文以下定法<sup>九分</sup>を以て刻を自<sup>八十</sup>を裁<sup>三百</sup>を以て刻

糸綿を目を得

米一石小運賃浪三匁五分ありて米百八十七石の運賃浪何極と同

答運賃浪六百五十四匁五分

術曰米<sup>百八十七石</sup>を益運賃浪<sup>三匁五分</sup>を運賃浪を得

米一石の運賃五外ありて米運賃米和<sup>三百拾五石</sup>各を何極と同

答米米三百石 運賃米拾五石

運賃

代地

術曰運賃米和<sup>三百拾五石</sup>を益一石を以て米<sup>二百十</sup>を割本米<sup>五石</sup>を得以て三百十

町屋敷を二坪の代浪四匁二分五厘ありて間口五石其米九間の代地を得

答浪百九拾一匁二分五厘

術曰間口<sup>五石</sup>を益一坪の代浪<sup>四匁二分五厘</sup>を得也二坪の代浪<sup>八匁二分五厘</sup>を得

異乘同除

異乘同除俗<sup>そと</sup>不<sup>ふ</sup>是<sup>ぜ</sup>を維<sup>まも</sup>乘<sup>り</sup>と<sup>り</sup>先<sup>ま</sup>知<sup>ち</sup>三<sup>さん</sup>件<sup>けん</sup>を以て不知<sup>しり</sup>の數<sup>かず</sup>を求<sup>もと</sup>む其法<sup>ほ</sup>同<sup>おな</sup>矩<sup>ま</sup>比<sup>ひ</sup>例<sup>れい</sup>式<sup>しき</sup>を設<sup>た</sup>け先<sup>ま</sup>乘<sup>り</sup>後<sup>のち</sup>除<sup>り</sup>て答<sup>こた</sup>數<sup>かず</sup>を得<sup>え</sup>る此法<sup>このほ</sup>不<sup>ふ</sup>り<sup>り</sup>と<sup>と</sup>毫<sup>こ</sup>釐<sup>りん</sup>過<sup>か</sup>不及<sup>ふたふた</sup>の誤<sup>あや</sup>失<sup>まち</sup>を<sup>を</sup>蓋<sup>おほ</sup>古<sup>こ</sup>今<sup>いま</sup>防<sup>ぼう</sup>簡<sup>かん</sup>の算<sup>さん</sup>書<sup>しょ</sup>を聞<sup>き</sup>不<sup>ふ</sup>先<sup>ま</sup>知<sup>ち</sup>三<sup>さん</sup>件<sup>けん</sup>不<sup>ふ</sup>限<sup>かぎ</sup>る茲<sup>こゝ</sup>不<sup>ふ</sup>於<sup>お</sup>て予<sup>ま</sup>が師<sup>し</sup>創<sup>つく</sup>て四<sup>よ</sup>件<sup>けん</sup>以<sup>も</sup>つ此<sup>この</sup>例<sup>れい</sup>式<sup>しき</sup>を制<sup>せい</sup>して日<sup>に</sup>用<sup>もち</sup>粟<sup>あわ</sup>布<sup>ふ</sup>の用<sup>もち</sup>法<sup>ほ</sup>と<sup>と</sup>以<sup>も</sup>つ門<sup>かど</sup>生<sup>な</sup>不<sup>ふ</sup>授<sup>おと</sup>く此<sup>この</sup>法<sup>ほ</sup>不<sup>ふ</sup>據<sup>た</sup>と<sup>と</sup>萬<sup>よろ</sup>急<sup>いそ</sup>務<sup>む</sup>の捷<sup>せつ</sup>徑<sup>けい</sup>あり是<sup>こゝ</sup>不<sup>ふ</sup>依<sup>よ</sup>て此<sup>この</sup>卷<sup>まき</sup>不<sup>ふ</sup>二<sup>に</sup>三<sup>に</sup>条<sup>じょう</sup>を舉<sup>あ</sup>げ幼<sup>わらわ</sup>學<sup>がく</sup>の<sup>の</sup>一<sup>いつ</sup>助<sup>すけ</sup>不<sup>ふ</sup>備<sup>び</sup>

人數五人ありて米一斗七升 取<sup>と</sup>り割<sup>わり</sup>金<sup>かね</sup>を以て人數<sup>にんず</sup>十三人<sup>にん</sup>は米<sup>こめ</sup>何<sup>なに</sup>極<sup>きよく</sup>と同

答米四年四升二合

術曰米一斗を五人數十三を年二石二斗を五人數五斗に割米を得

解曰先五斗と先の米一斗七升を割一入り

二升四合を後法人數ををて後の米を得これハ

常の女の子術あり以題數のこときハ不忠ありと

いへりありの人數不依て不忠あり時ハ子術積

あり也(由法)米を米を先を後ハ割時子母

能不足過不及の誤夫あり由(先)先東除除の

比例式を設り也(一)

米比は是を假し

比例式の解曰米のことさあり人數をあら

Table with columns: 式例比, 十三人, 五人, 十三人, 五人, 后米, 前行, 后行, 前行. Rows: 上級, 下級.

後百文の米一升二合の米一升二合を米何種と同

答米九合

術曰米一斗を五斗を置九斗に割米を得

米二斗五分の代銀二十目半を金一両五匁米何種と同 兩銀浪字目

答米七斗五升

術曰米一斗を置五斗を置七斗に割米を得

木綿一五限十七斗又布一五限減減五百十文を置買同一割合を以て各々也

木綿一五の意直限二十目ありて布一五の代減何種と同

答布一五の意直六百文

術曰布買代五百文を置木綿置置限二十を置買同一割合を以て各々

刻布一五の意直を得

今金を得はあり元金金をとら(年利)三年目元元利共八百六十四

又六六年目元元利合金一子四百九十二永元九百九十二也元金何種と同

答元令五百兩

術曰三年目の元利合金を置六年目の金を以て置元令

を得

今空をさしふ目のとふ五丈言紀天八寸の楕ありま上み五尺の楕あり  
落と楕の同とみるの楕のまを何れと問

答落の言三十一丈二尺五寸

術曰楕言丈を落の尺を二百五を倍楕のむを以て割り落の言を倍

梨子一個の價二十五文買て一個お付三十文は是を差て利令十五文二分  
の益あり此元金何れと問

答元金七十七文二分

術曰金十五兩永を差買代二十五を差を以て買代二十五の内買代二十五を引倍

五を法として差を割元金を倍 乃おつて買代二十五を引倍  
解曰差を三十文の内買代二十五を引倍二十五の元八二十五文  
あり其利不依て利金の元金を倍の比例式のゆへ

比	五文	二十五文
利金	元金	

先小行を二十五里を幕て進歩を八十里行ても未不及なり五里を引倍  
の里を何れと問

答里教二十里

術曰不及を五八十里を引倍と成を差と以先小行二十五の内不及を引倍

以て差を割進歩の里教を倍

解曰先小行二十五里の内不及の五里を引倍二十里を引倍も八十里の内之  
此解を以て五里は倍の進歩の里教より依て比例式を求む

比	二十里	八十里
五里	進歩里教	

米十一石海上三十里の運賃限八由りて米一石一百五十五石を海上五十五里  
引運賃限何れと問

答運賃限一貫五百四十文

術曰石言一千一百を差里教五里を差限八を差を以て米十一石を差

里教三十を差を以て差を割運賃限を倍

解曰五辞比例式を設け前の異乗同除の如く斜りて前の  
右行と銀を以て割後の銀を倍委しを解とて八先を  
相乗教則直責より前の相乗教八直責より前の相乗教八直責也依て直責比例を求む

比	三十里	八里
五十五	右銀	右行
五十五	左行	

今羅紗何り幅四尺長五尺の代限三百文此割合を幅七寸長八寸の代限を問

答浪八分四分

術曰幅四尺五寸長五尺五寸を評を倍法より幅に八寸をを  
六十評を倍は浪三  
をを浪八分と成を法を以て割浪八分を得る

比	五尺
式例	八寸
右銀	三百
前行	

解曰前例の如く五辞比例式設けて答術を得る但し此  
式より直責の割合ありこと明あり又前知七辞八直堡  
塙の立責比例あり各ハ皆是なるなり

米三斗八三俵を五里の運賃浪九分あり米四斗八七俵三里の運賃浪を問

答浪拾六分八分

術曰入の和を壹俵拾俵及里數里をを  
四寸を浪九をを  
七十五を算より入  
をを三俵及里數里をを以て算を割浪八分を得る

比	三三
式例	四三
右銀	九分
前行	

解曰前例の如く七辞比例式を設けて答術を施し但し直堡塙  
の立責比例より下の如し

今携あり幅六寸厚五寸長三間代浪十八分又幅八寸厚七寸長四間本代浪を問  
答浪四十四分八分

術曰幅八寸を壹厚此及長間を恣に二百二得銀八分をを  
十二分を得実より幅  
六寸厚五及長間を恣に九分得を以て算を割浪八分を得る

此乘直除 俗不是を帰維乘と云

右法小曰比例式を設る竟前例小等しと雖右行の上級與下級相乘して得る  
數尤行の上級と下級相乘數不適等し故右行上下相乘して尤行の上級を以  
て割得數左行の下級數より餘皆是不同し是亦依て數を設け術を施し

金一石二斗替小を酒を造る酒一升の代浪を二分とし此割合を以て今  
金を兩小米八斗の米を造る酒同割合ありて酒を升の代浪何れと問

答酒を升の代浪を二分

術曰米一石を壹浪一分を算より米八斗を以て算を割酒を升の代浪を問

解曰前例の如く比例式設け右行の上下相乘  
得數左行の上級より割尤行の下級より  
代浪を得る替未是なるなり

比	一石二斗
式例	八斗
右銀	一分
右行	

大豆壹俵の代浪八分小豆壹俵の代浪十二分五分ありて  
乃各一俵の  
八分同し只云大豆

七石五斗小豆と取換て換益ありと云小豆の升数何程と同

答小豆四石四斗八升

榭白大豆を量大豆の代銀を感<sup>五</sup>を得実と云小豆の代銀<sup>十二</sup>を以て割換る小豆の升数を得

提考後あり甲乙の二組にておを運<sup>只</sup>甲の組八人<sup>七</sup>人をして二十回の丁場<sup>五</sup>と三坪運同割合ありて乙の組八人<sup>七</sup>人をして二十五回の丁場運<sup>五</sup>と何程と同

答乙組の運土三坪を分

榭日甲の七斗其丁場<sup>二十</sup>を感又土三坪を感<sup>二百</sup>を實と以て乙の八斗丁場<sup>二十</sup>を感<sup>二百</sup>を法として以て實を割乙の坪数を得

今上下の米を上米八金一兩小七斗三升五合米一升の代銀八十四文下米八金一兩小九斗也前の割合ありて下米一升の代銀何何と同<sup>乃一升の代百文以上</sup>

答下米一升代銀六十八文六分

榭日上米七斗三升五合代銀八十四文を感<sup>調</sup>法六貫百七十四文とあるを以て下米九斗を以て實を割下米一升の代銀を以て

暗

衡何の箇の如く只右白玉重目五百目右の同と寸右の同八寸右黒玉重目何程と同

答右黒玉重目百八十七文五分

榭日右の同<sup>三</sup>右の白玉重目<sup>五百</sup>目を感<sup>五</sup>を得実と云小豆の代銀<sup>十二</sup>を以て割換る小豆の升数を得

○利益割

元金五兩九錢月借<sup>但一月月分三</sup>利金何程と同

答日金二兩七錢

榭日元金<sup>五</sup>を以て割換る小豆の升数を得

元銀七拾分三月借以但一二十利銀何種と同

術曰元銀七拾分三月借以但一二十利銀何種と同

術曰元銀七拾分三月借以但一二十利銀何種と同

術曰元銀七拾分三月借以但一二十利銀何種と同

元銀七拾分三月借以但一二十利銀何種と同

答利銀二百四十一文七分五厘

術曰元銀七拾分三月借以但一二十利銀何種と同

元銀七拾分三月借以但一二十利銀何種と同

答利銀二百四十一文七分五厘

答利銀二百四十一文七分五厘

術曰元銀七拾分三月借以但一二十利銀何種と同

元銀七拾分三月借以但一二十利銀何種と同

元銀六十石借以一月利銀三斗取是八利金五分元銀何種と同

答元金五十兩

術曰定法二分五厘元銀六十石借以一月利銀三斗取是八利金五分元銀何種と同

元金三十兩借以一月月の利金一分取是八年利何種と同

答年利一割

術曰一月年の月利二斗を利金一分を元金三斗に定法四分を以て

元金三百兩借以年利一割一分を以て毎年元利何種と同

答 初年元利五百六拾兩 二年元利六百二十七兩永二百文

曰 三年元利七百。二兩永四百六十四文

術曰年利一割を以て元金三百兩を以て元利の法を以て元金五百

元利を以て法を以て二年の元利を以て法を以て三年の元利を以て法を以て

此の如くして進年元利合金を求む。

元金五百宛 毎月貸付に二十二月 但元金二百五十  
元利合金を求む 元利合金何れと同

答 元利合金四百八十七元五文

術 日月数二十を五定法一を加一は月数二十を二に割る元金五百を五に割る

實と利合金分の元金百一十四を五定法一を加一は元金百一十四を二に割る

元金百六十宛 二分三厘年借以年一割の利を加一は年一割の利を加一は元金百六十宛を二分三厘に割る

答 等返金六百六十六元五文

術 日年利割を五定法一を加一は利法を元金百六十宛を五定法一を加一は元金百六十宛を五定法一に割る

乃四年八四文 實と元金一を五定法一に割る元金一を五定法一に割る

元金一を五定法一に割る元金一を五定法一に割る

元金一を五定法一に割る元金一を五定法一に割る

元金若干貸付に利合金を求む 取金若干宛若干年数小取て  
皆漸多り加減乗除の術に依て年利を以て通術を問

普通術元金の如く

術 日置等取金以元金除之名通積乗年数加一個半之名以

除積加積 二年者 以甲除之加積 三年者 以甲除之加積 四年者

止之逐而如此隨年數求之止於之加甲半之名以除積加積

者於以乙除之加積 三年者 以乙除之加積 四年者 逐而如此

隨年數求之止於之加乙半之名如前々求千名多件者愈進

于真列所止之于名内減定一個得年利合問

会有元金若干貸付に利合金若干元利合金若干隨年數問

得年利通術の如く加減乗除の術に依て答を求む



術曰置元利合金以元金除之為積隨年數除之乃二年者八除四年者十六除五年者二十除逐而如此倍除而得數以減一個天名以年數除之  
 以減天餘名加天名加天房名加天名加天尾名逐而求宿名○列  
 定一個為原數乘角二段除而為一差乘九除而為二差乘氏  
 除而為三差乘房除而為四差乘心除而為五差逐而如此求  
 之○列原數候減逐差餘得利割合問

○雜題

米一粒日々一倍りて三十日不玉て惣米數を問

答三十日不玉て五億三子六百八十七万。九百十二粒

術曰八日目の米百二を五三を五合倍りて三十日目の米を問合以

本綿一反代銀十七匁を買て九月月を徑て是を賣る元金十五兩付利金一分  
 の利割の外は利の利あり一反付賣代銀何種と問

答を五反代銀二十一匁二分五厘

術曰元金十五を定法四を以て月數九を割りて是を以て定法の一を  
 加へ一分二を是を買代銀を五反代銀を以る

西園にて冷一石五斗米一石五斗を買東園へ積送る是米百石を運賃米三  
 十五石よりて是を運賃の外は二割の利を以る西園にて冷一石を  
 五斗を賣場何種と問

答東園相場米名

術曰運賃米二十を五百石して割りて是を以て定法二を加へ一個二を以て  
 是一個を加へ二分を是を買代銀を以る

上下の米石字等々を以て是を買代金四兩二分但今を分り上米四斗下米  
 五斗よりて等々を以て是を買代金何種と問

答等米四石



浪を

解曰圖の内乃五百と三百と三百の字ハ補數也假如  
取銀小五百目をくらゐて甲の取銀より丙の取銀  
小五百目と二百目を加へて甲乃取銀より丁の取銀  
小五百目と二百目と三百目を加へて甲の取銀より  
是より仍て五百目三段と二百目二段と三百一段を惣銀加  
入數の因甲の取銀也仍て前術の如し

五百目	三百目	二百目	二百目
五百目	三百目	二百目	二百目
三百目	二百目	二百目	二百目
二百目	二百目	二百目	二百目

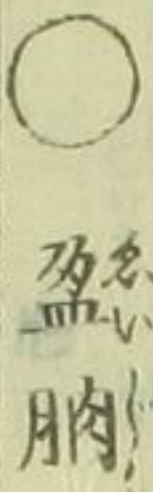
今七節の大竹何り是ハ極を入惣外數一斗四升又身同差より云云一  
番の内外數ハ未ハ三升不足也各内外數何法と同

- 答
- 一番三升五合
  - 二番三升
  - 三番二升五合
  - 四番二升
  - 五番一升五合
  - 六番一升
  - 七番〇五合

術曰節數七を定法一を引残より初未の差半を割合より初未  
同差の合を初惣外數四升を割外數を初未の差半一升  
を加一番の内外數三升は初身同差五合を引各入を得

總升數二段の圖

半	半	半	半	半	半	半	半	半	半
半	半	半	半	半	半	半	半	半	半
半	半	半	半	半	半	半	半	半	半
半	半	半	半	半	半	半	半	半	半
半	半	半	半	半	半	半	半	半	半
半	半	半	半	半	半	半	半	半	半
半	半	半	半	半	半	半	半	半	半



解曰初未の初小節數を懸惣升數二段也  
節數の内一を引同差を懸て得數ハ初未乃  
差より依て節數の内一を引以て初未の差  
を割以て同差より圖小仍て惣外數を節  
數より割初未の差半を加一初一の内外數也

座既算合て既儀浪を分る浪九匁宛取八二四匁餘八厘十二匁宛取  
八二十四匁足らば人數及浪高何程と云

答 人數三十六人 浪高四百〇八匁

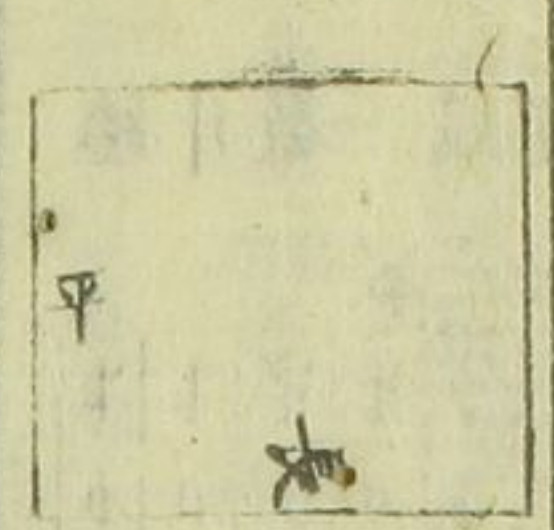
術曰後の取浪數十二の内前の取浪數を引餘餘三を法とし餘銀四より足らば  
浪數を加へ銀八匁と取實と法を以て實を割人數三十六を是より是ハ前の取  
浪數を急存銀數を加へ浪高を得  
江小進き里小長者と兼きて酒を好む五合宛飲ハ一石又半餘又八合

宛飲のり九斗六升餘のり人教及酒の外教何程と同  
 答人教百八十人 酒外教二石斗  
 術曰後のりの合の内前の合のりを引餘三合を法と以て其の餘のり五斗の内後の餘のり六斗を引餘五斗四升を以て其法を以て實を割人教百八十人を以て其の五合を其前の餘のり五斗を加へ酒の外教を以て

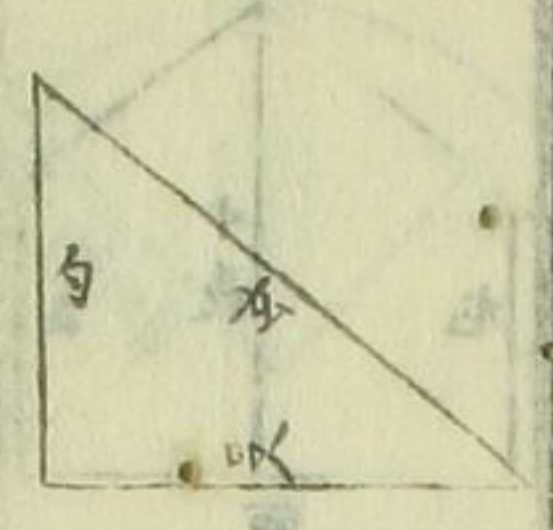
○平坪のりの部



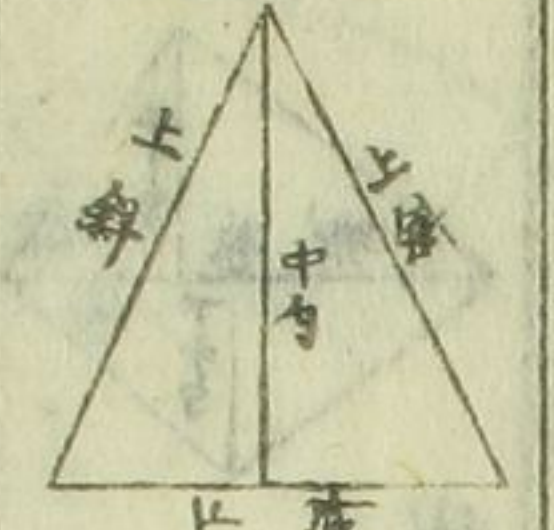
今方田のりの面二十四間歩教何程と同  
 答歩教五百七十六歩



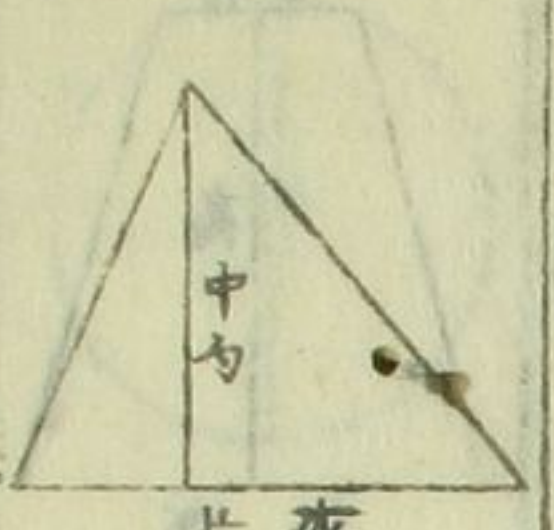
今直田のりの長三十二間平十五間歩教何程と同  
 答歩教四百八十歩  
 術曰長のり三十二間平十五間を以て歩教を以て



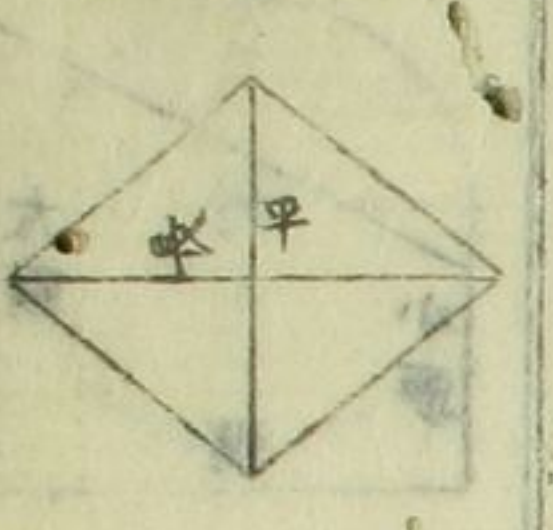
今方田のりの勾八間股十三間歩教何程と同  
 答歩教五十二歩  
 術曰勾のり八股のり十三を以て歩教を以て



今圭田のりの勾三十五間中勾八十八間歩教何程と同  
 答歩教五百四十歩  
 術曰下斜のり中勾のり八十八を以て歩教を以て



今三斜田のりの勾七十二間中勾十七間歩教何程と同  
 答歩教六百十二歩  
 術曰下斜のり中勾のり十七を以て歩教を以て



今菱田あり長五十五間平二十八間歩教何程と同  
 答歩教七百七十歩  
 術曰長のり五十五間平二十八間を以て歩教を以て



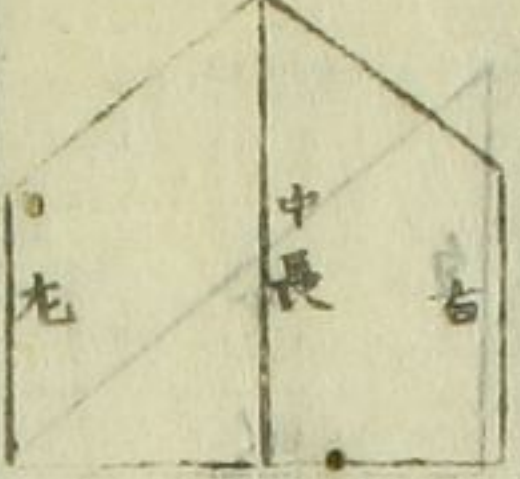
今半梯田より大頭八間小頭四間濶六間歩数何程と同  
答歩数三十六歩



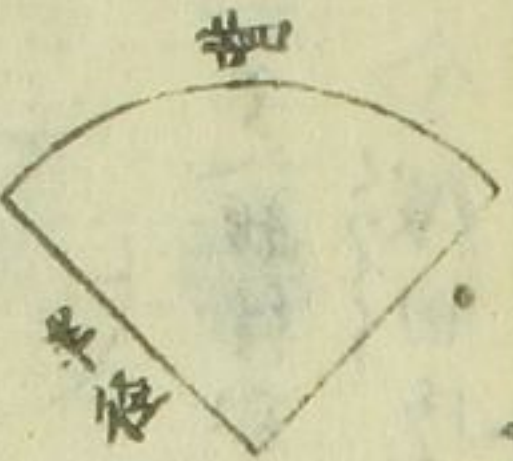
今梯田より上底七間中底九間高十九間歩数何程と同  
答歩数百五拾二歩



今四斜田より上中白十間下中白六間通斜二間歩数何程と同  
答歩数百九十二歩



今箭翎田より中長八間左右若六間濶七間歩数何程と同  
答歩数四十九歩



今扇田より半径九間背十二間歩数何程と同  
答歩数五十四歩



今車輞田より外背九間内背五間離徑四間歩数何程と同  
答歩数二十八歩



今圓田より徑十二間歩数何程と同  
但一積率七分八五四  
答歩数百十三歩。九七六



今圓田より徑十二間周率何程と同  
但一積率三個二四一六  
答周三十七歩六分九厘九毫三絲  
樹日徑十二間周率三個二四一六



今側園田の長径九間短径五間歩数何程と同

答歩数三十五歩五分四厘三毫

術曰長径短径を以て圓積率<sup>七十八</sup>を以て歩数を算す

今横園田の長径八間方面三間外歩数何程と同

答歩数四十一歩二分六厘五毫六絲

術曰方面を以て合九歩を以て圓積率<sup>七十八</sup>を以て合圓積率<sup>七</sup>



分八五四を以て内列<sup>二</sup>を以て外歩数を算す

今帯直園田の長径十五間短径七間歩数何程と同

答歩数九十四歩四分八厘四毫六絲

術曰短径を以て圓積率<sup>七十八</sup>を以て長径<sup>十五</sup>を加へ短径<sup>七</sup>を以て



長径短径を以て歩数を算す

今環園田の外周八十間内周之長外歩数何程と同



答外歩数四百三十七歩六分七厘五毫

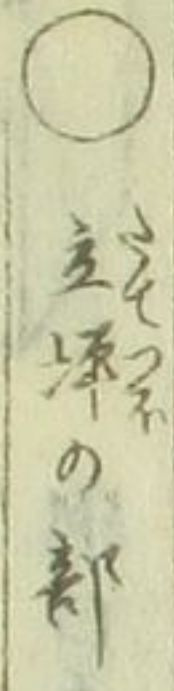
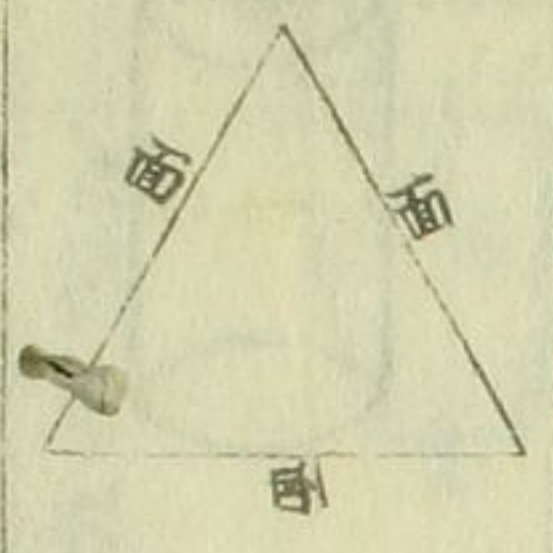
術曰圓周率<sup>三圓一</sup>を以て外周<sup>八十</sup>を以て十二個<sup>五六四</sup>を以て内周<sup>二十</sup>

を合九百歩を以て外周<sup>八十</sup>を以て合圓積率<sup>七十八</sup>を以て歩数を算す

今三角園田の長径六間歩数何程と同

答歩数十五歩五分八厘四毫七二

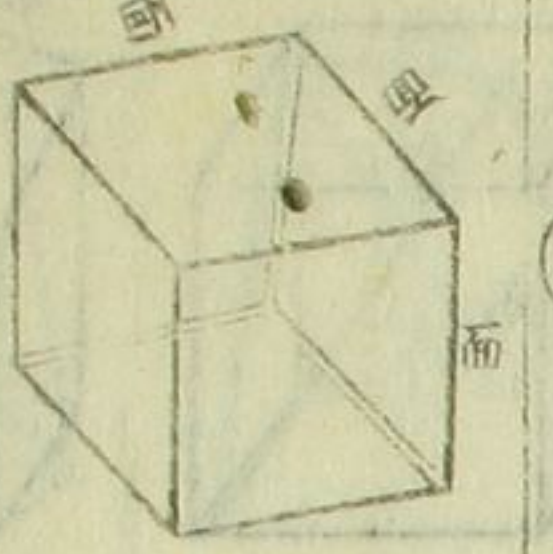
術曰面<sup>六</sup>を以て合<sup>三</sup>角積率<sup>四三三</sup>を以て歩数を算す



今立方あり面九間歩数何程と同

答歩数七百二十九歩

術曰面<sup>九</sup>を以て合亦面<sup>九</sup>を以て歩数を算す



今方堡塙あり面四間歩数何程と同



答步教百十二步

術曰面四長五合之有七是步教是也

今直堡博何平二万長六万步教何程同

答步教四十八步

術曰平二長四合之又六是步教是也

今園博何徑四万步教何程同

答步教七十五步三分九八四

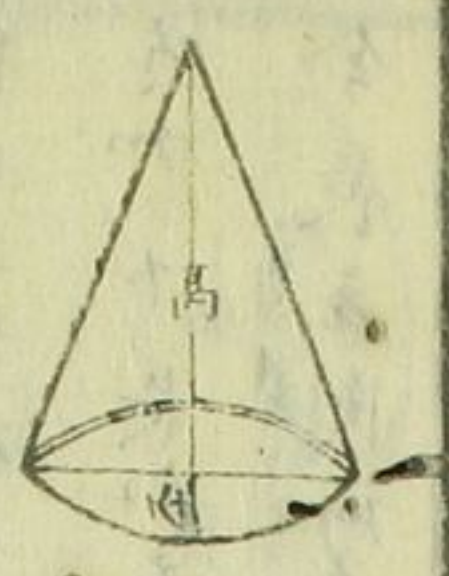
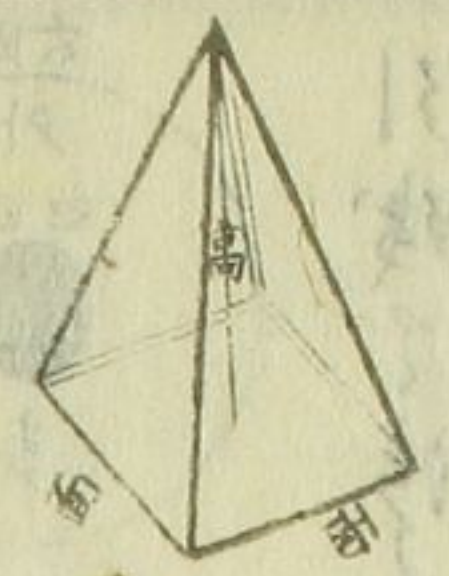
術曰徑四合六是又六積法五四是步教是也

今方錐何面五万步教何程同

答步教五拾步

術曰面五合六是定法三是以七割是積率

今園錐何徑七万步教何程同



答步教百十五步四分五三八

術曰徑七合九是定法三是以七割是積率

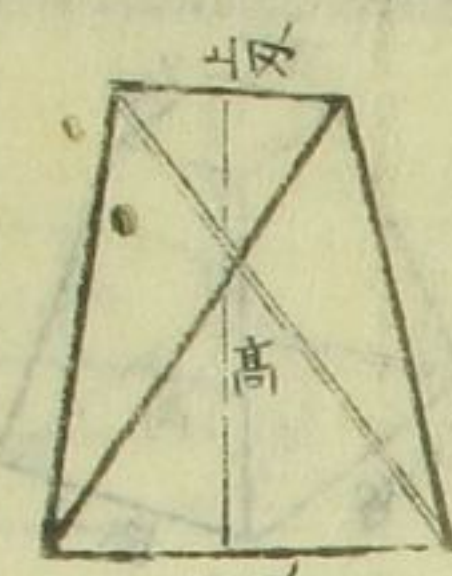
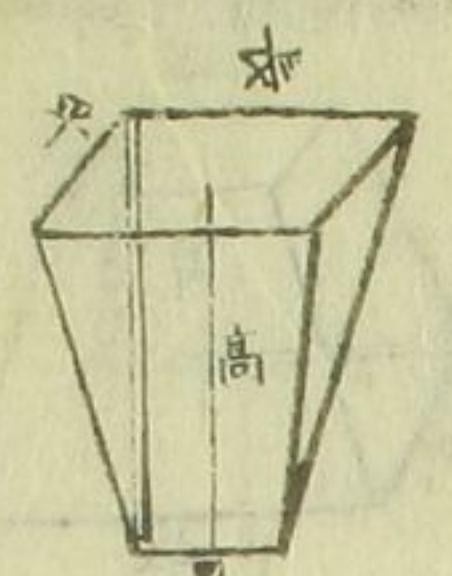
八五

今樓何長五間平三万二間高九同步教何程同

答步教五拾四步

術曰長五合七是加八平三在是九是定法

六丁七割步教是也



今兩刃方上刃三間下刃四間高七同步教何程同

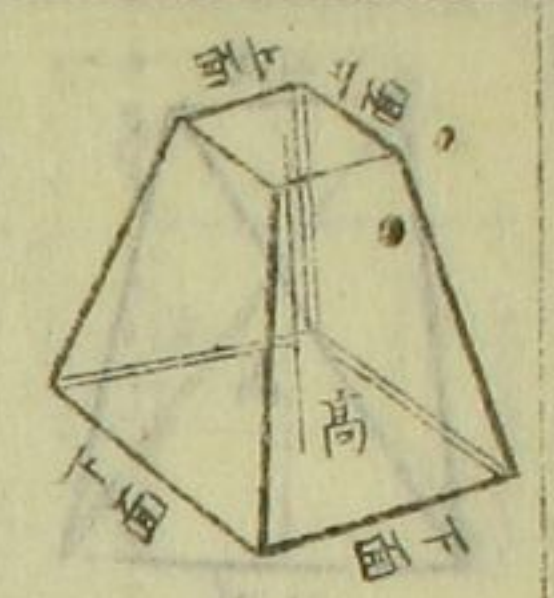
答步教十四步

術曰上刃三下刃四合七是定法六丁七割步教是也

今園基何上徑二間下徑五万步教何程同

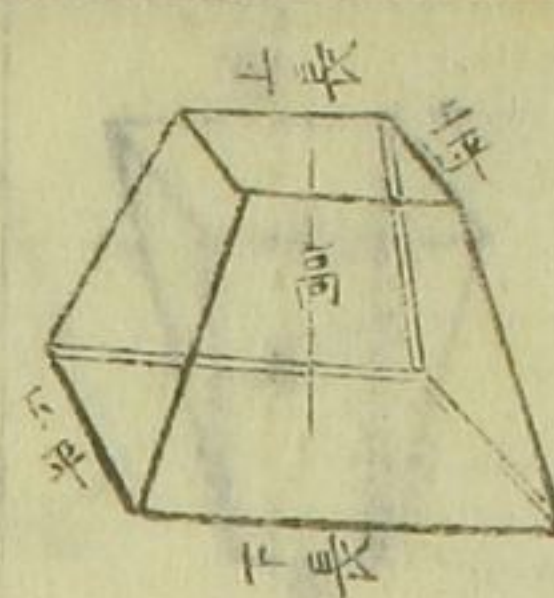
答步教七拾步四分十一四

術曰上徑を一個徑をを別不長上徑を二下徑をを加へ是をを合内別不長  
数を引残り言ひを定法三より刻圓積率<sup>七分</sup>を歩数を得る



今方臺のりり上面四間下面七間高五歩歩数何程と問  
答歩数百五十歩

別よまたる数を引残り言ひを定法三より刻歩数を得る



今直臺のりり上長三万上平二万下長七間下平五間高十二間  
歩数何程と問  
答歩数二百二十二歩

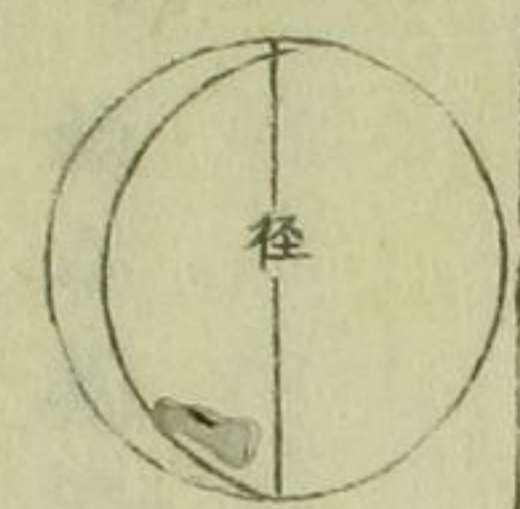
術曰上平を倍して下平を加上長をを別不長下平を倍して上平を二  
を加へ下長をを別不長数を加へ言ひを定法六より刻歩数を得る  
今長五間下長三間短徑五歩歩数何程と問



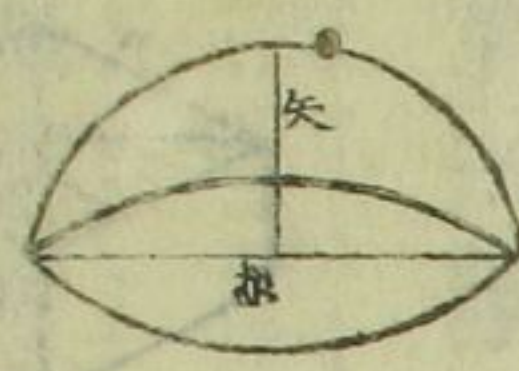
答歩数百四歩七分二厘  
術曰短徑をを合長徑をを掛亦玉積率<sup>三分</sup>を掛歩数を得る



今矮立圓のりり長徑五間短徑二間歩数何程と問  
答歩数二十六歩一分八厘  
術曰長徑をを掛各短徑をを掛亦玉積率<sup>三分</sup>を掛歩数を得る



今球のりり徑三間歩数何程と問  
答歩数十四歩一分三七二  
術曰徑をを掛合亦徑をを掛亦玉積率<sup>三分</sup>を掛歩数を得る



今球缺のりり弦八間外二間歩数何程と問  
答歩数八十九歩五分三厘五毛六糸  
術曰弦をを掛合定法七分五厘を掛是は矢間を掛合歩数を

加矢間を掛亦玉積率<sup>五分</sup>を掛歩数を得る  
當世算書







